

# 宇治市第2次人権教育・啓発推進計画

◇令和6年度・令和7年度宇治市人権教育・啓発推進事業◇

宇治市人権教育・啓発推進本部

宇治市第2次人権教育・啓発推進計画にかかる令和6年度・令和7年度宇治市人権教育・啓発推進事業一覧

担当課	事業名称	ページ	新規	継続	終了	推進計画との関係																										
						人権問題の分野								人権教育・啓発の場						事業対象						人権教育・啓発の視点						
						全般	同和	女性	子	高齢	障害	外国	感染	他	保育	幼稚	学校	地域	家庭	企業	市民	市職	教職	医療	保健	メディア	一人	共生	生涯	自分		
合計	70事業	1	0	70	0	35	3	11	12	2	6	1	1	3	6	6	11	59	14	16	59	19	15	5	14	5	33	26	3	11		
人事課	職員人権研修事業	4		●		●														●		●						●				
秘書広報課	市政だより等 啓発・広報	5		●		●													●	●		●									●	
総務課	犯罪被害者等支援事業	6		●										●					●	●		●	●		●						●	
	再犯防止施策の推進	7		●										●					●	●		●	●		●						●	
市民協働推進課	人権啓発標語入り回覧板	8		●		●													●			●							●			
産業振興課	労政ニュース 啓発・広報	9		●		●													●		●							●				
人権啓発課	身近に感じる人権講座	10		●		●													●			●									●	
	人権週間記念開催事業	11		●		●													●			●						●				
	人権啓発物品配布事業	12		●		●													●			●							●			
	人権啓発スポットCM	13		●		●													●	●		●									●	
	人権啓発視聴覚教材貸出	14		●		●									●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●			
	平和・ひゅうまん夏フェスタ開催事業	15		●		●													●			●						●				
	人権情報紙配布事業	16		●		●													●	●		●									●	
	人権擁護委員の活動支援	17		●		●									●	●	●	●			●							●				
	人権啓発懸垂幕の掲示	18		●		●													●			●							●			
	市政だより等 啓発・広報	19		●		●													●	●		●									●	
	人権啓発ギャラリー設置	20		●		●													●			●							●			
	街頭啓発参加事業	21		●		●													●			●							●			
	各種研修会参加事業	22		●		●															●		●						●			
	人権講座「人権ゼミ」	23		●		●														●		●							●			
	いじめ防止対策連絡会議運営事業	24		●					●										●			●										●
		性的マイノリティに関する取り組み	25		●										●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●			
コミュニティ ワークうじ館	善法文化祭開催事業	26		●				●											●			●							●			
	まちづくり推進事業	27		●		●													●			●							●			
	隣保館啓発交流事業	28		●		●	●												●		●	●							●			
	隣保館デイサービス事業	29		●						●	●								●			●							●			
コミュニティ ワークこはた 館	和太鼓教室開催事業	30		●		●													●			●							●			
	隣保館啓発交流事業	31		●		●	●												●			●							●			
	隣保館デイサービス事業	32		●		●													●			●							●			
	玉池集会所	33		●		●													●			●							●			
男女共同参画課	女性問題アドバイザー派遣	34		●				●							●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●				
	情報誌発行事業	35		●				●											●			●	●	●	●	●	●		●			

担当課	事業名称	ページ	新規	継続	終了	推進計画との関係																									
						人権問題の分野										人権教育・啓発の場						事業対象						人権教育・啓発の視点			
						全般	同和	女性	子	高齢	障害	外国	感染	他	保育	幼稚	学校	地域	家庭	企業	市民	市職	教職	医療	保健	メディア	一人	共生	生涯	自分	
	「UJIのつどい」開催事業	36	●				●											●	●		●						●				
	あさぎりフェスティバル	37	●				●											●			●						●				
	各種セミナー開催事業	38	●				●											●		●	●									●	
	市民企画事業奨励事業等	39	●				●											●		●	●									●	
	ここからチャレンジ相談	40	●				●											●			●									●	
	女性に対する暴力をなくす運動	41	●				●											●			●							●			
	中学生ハンドブック配付	42	●				●										●				●						●				
	市政だより等 啓発・広報	43	●				●											●	●		●							●			
	人権講座「ゆめりあ通信」	44	●				●													●		●						●			
地域福祉課	民生委員・児童委員研修	45	●		●													●						●		●					
	自殺対策推進事業	46	●		●													●			●						●				
	ひきこもり相談窓口設置事業	47	●		●													●			●						●				
生活支援課	生活保護職場職員の人権研修	48	●		●														●		●				●		●				
障害福祉課	ほっとショップの運営支援	49	●						●									●			●							●			
	障害者週間記念事業	50	●						●									●			●							●			
	市政だより等 啓発・広報	51	●						●									●	●		●							●			
	オープンカフェ運営支援	52	●						●									●			●							●			
こども福祉課	児童虐待予防啓発	53	●					●										●			●		●		●		●				
	育成学級指導員研修事業	54	●		●															●		●			●		●				
	ヤングケアラーへの支援	55	●					●										●			●		●		●		●				
保育支援課	保育士人権研修事業	56	●		●								●							●				●		●					
長寿生きがい課	認知症地域支援事業	57	●					●									●	●		●	●			●				●			
健康づくり推進	ハンセン病啓発	58	●									●						●			●							●			
生涯学習課	人権啓発視聴覚教材貸出	59	●		●								●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●			
	障害者教室開催事業	60	●						●									●			●							●	●		
	人権教育関連会議への出席	61	●		●													●		●							●	●			
教育支援課	少年補導活動	62	●					●										●			●						●				
	青少年健全育成推進事業	63	●					●										●			●						●				
学校教育課	宇治市一般研修講座（人権研修）	64	●		●									●	●					●							●				
	小・中学校人権教育の推進	65	●		●										●				●								●				
	帰国・外国人児童生徒教育	66	●					●			●				●	●	●		●		●							●			
善法青少年センター	文化・スポーツ交流事業	67	●					●										●			●						●				
	児童交流事業	68	●					●										●			●						●				

担当課	事業名称	ページ	新規	継続	終了	推進計画との関係																					
						人権問題の分野							人権教育・啓発の場						事業対象						人権教育・啓発の視点		
						全般	同和	女性	子	高齢	障害	外国	感染	他	保育	幼稚	学校	地域	家庭	企業	市民	市職	教職	医療	保健	メディア	一人
河原青少年センター	河原青少年センターまつり	69		●				●									●						●				
	文化・スポーツ交流事業	70		●				●									●						●				
	児童交流事業	71		●				●									●						●				
大久保青少年センター	人権啓発（母の日・父の日・敬老の日）事業	72		●				●									●						●				
消防総務課	消防職員人権研修事業	73		●	●												●		●				●				

<凡例>

人権問題の分野	
全般	… 人権問題全般
同和	… 同和问题
女性	… 女性の人権
子	… 子どもの人権
高齢	… 高齢者の人権
障害	… 障害のある人の人権
外国	… 外国人の人権
感染	… 感染症・ハンセン病患者等の人権
他	… その他(さまざまな人権問題、社会情勢の変化等により顕在化している人権に関わる課題)

人権教育・啓発の場	
保育	… 保育所
幼稚	… 幼稚園
学校	… 学校
地域	… 地域社会
家庭	… 家庭
企業	… 企業・職場

事業対象	
市民	… 市民
市職	… 市職員・消防職員
教職	… 教職員・社会教育関係職員
医療	… 医療関係者
保健	… 保健福祉関係者
メディア	… メディア関係者

人権教育・啓発の視点	
一人	… 一人ひとりを大切にし、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
共生	… 共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
生涯	… 生涯学習としての人権教育・啓発
自分	… 自分のこととして考える人権教育・啓発

事業名称	職員人権研修事業	担当課	人事課
------	----------	-----	-----

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	企業・職場
	事業対象	市職員等
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	人権尊重の理念やさまざまな人権問題の本質について十分に理解するとともに、その現状と課題について認識し、問題解決に積極的に取り組むことができるより高い人権意識を持った職員を育成する。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	—			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員研修：人権研修（2回） 17人</li> <li>・新規採用職員第2次研修：人権研修 22人</li> <li>・初級職員研修：人権研修（2回） 24人</li> <li>・中級職員研修：人権研修（3回） 50人</li> <li>・新任管理監督者研修：人権研修 34人</li> <li>・課長・副課長研修：人権研修 71人</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	研修回数(回)	計画	実績	計画	実績
		7	9	8	10
	将来展望(令和8年度目標)				
	8				
	取り組みの評価と方向				
	<p>前年に引き続き、講義形式だけでなく、具体的な事例を示し、グループワークの形式で話し合いを行う等、人権問題に対する正しい知識が認識できるよう研修を実施した。今後も、具体的な事例を取り上げながら、人権研修の充実を図る必要がある。</p>				

R7	時期	通年			
実施計画	場所	—			
	事業内容	<p>新規採用職員研修をはじめ、階層別の職員研修等において積極的に実施する。</p> <p>階層別研修での実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用職員研修</li> <li>・新規採用職員第2次研修</li> <li>・初級職員研修</li> <li>・中級職員研修</li> <li>・新任管理監督者研修</li> <li>・課長・副課長研修</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	研修回数(回)	8		—	

事業名称	市政だより等を通じた人権啓発・広報	担当課	秘書広報課
------	-------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会 家庭
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	メディアを通じて、人権尊重の重要性について市民の理解を深める。

R6	時期	通年				
実施状況	場所	市政だより・市ホームページ・コミュニティ放送(FMうじ)等のメディア				
	実施内容	①市政だより				
		・人権相談	各月15号			
		・イベント告知	平和☆ひゅうまん夏フェスタ	8月1日号		
			ひゅうまんフェスタうじ	11月1日号		
			身近に感じる人権講座	1月15日号	等	
		②市ホームページ				
		・イベント告知	平和☆ひゅうまん夏フェスタ	8月		
			ひゅうまんフェスタうじ	11月	等	
		③FMうじ				
			・啓発スポットCM(人権啓発 8月・12月, 男女共同参画 6月・11月)			
	g	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績	—
		—	—	—		
取り組みの評価と方向						
適正に実施することができた。今後も継続的に実施することにより、広く人権問題の意識を深めてもらえるようにする。						

R7	時期	通年			
実施計画	場所	市政だより・市ホームページ・コミュニティ放送(FMうじ)等のメディア			
	事業内容	市政だより・市ホームページ・コミュニティ放送(FMうじ)・SNS等のメディアを通じて、人権啓発を効果的・継続的に行う。			
	評価指標(単位)	令和7年度(計画)		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	犯罪被害者等支援事業	担当課	総務課
------	------------	-----	-----

推進計画との関係	人権問題の分野	その他
	人権教育・啓発の場	地域社会 家庭
	事業対象	市民 市職員等 教職員等 保健福祉関係
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	犯罪被害者やその家族が、直接的な被害だけでなく、中傷やプライバシーの侵害などによる精神的な苦痛、日常生活への支障など、二次被害を受けることがない社会の構築を目指す。

R6	時期	①7月9日、12月12日 ②11月25日～12月6日 ③11月28日			
実施状況	場所	①キャンパスプラザ京都、京都府庁 ②宇治市役所総務課窓口・コミュニティセンター（西小倉、東宇治、南宇治、槇島）・地域福祉センター（木幡、開、西小倉、東宇治、広野、槇島）・公民館（中央、木幡、小倉、広野）・ゆめりあうじ ③宇治市生涯学習センター			
	実施内容	①犯罪被害者等支援施策市町村担当者研修会(講演・グループワーク等) ②ホンデリングプロジェクトの実施 ③犯罪被害者支援講演会(参加者64人) 公益社団法人京都犯罪被害者支援センターの犯罪被害者支援員による「被害者支援に携わって」というテーマの講演会等。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
			—	—	—
	取り組みの評価と方向				
	適正に実施することができた。引き続き他団体との情報交換、事例研究を実施するとともに、市政だより及びホームページへの啓発記事の掲載やホンデリングプロジェクトの実施により、職員及び市民の意識向上に努める。				

R7	時期	通年			
実施計画	場所	各所			
	事業内容	(1)府・近隣市町村と情報交換、事例研究を行う場を積極的に持ち、犯罪被害者等の人権に関わる意識の向上に努める。 (2)全国犯罪被害者週間に合わせて市政だよりに掲載記事を掲載する。 (3)公益社団法人京都犯罪被害者支援センターと連携し、施策の充実に取り組む。 (4)ホンデリングプロジェクトを実施する。 (5)職員研修を兼ねた犯罪被害者支援講演会を実施する。			
		令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	再犯防止施策の推進	担当課	総務課
------	-----------	-----	-----

推進計画との関係	人権問題の分野	その他
	人権教育・啓発の場	地域社会 家庭 企業
	事業対象	市民 市職員等 教職員等 保健福祉関係
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	犯罪等をした人が、地域社会等の否定的な感情により孤立してしまうことなく、地域住民の理解や協力を得て、再び社会を構成する一員となることができるよう再犯防止施策を関係機関と連携しながら推進する。

R6	時期	①7月23日 ②7月29日～31日 ③10月4日			
実施状況	場所	①宇治市生涯学習センター ②市役所ロビー ③うじ安心館			
	実施内容	①再犯防止講演会（参加者40人） 法務省職員等による「社会復帰後に求められる支援」というテーマの講演等。 ②再犯防止パネル展 ③再犯防止推進ネットワーク会議			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
			—	—	—
取り組みの評価と方向					
適正に実施することができた。引き続き国・府・近隣市町村との情報交換、事例研究を実施するとともに、市民及び職員向けの講演会の実施により、職員及び市民の意識向上に努める。					

R7	時期	通年			
実施計画	場所	各所			
	事業内容	(1)国・府・近隣市町村と情報交換、事例研究を行う場を積極的に持ち、犯罪等をした人の人権に関わる意識の向上に努める。 (2)法務省近畿矯正管区と連携し、施策の充実に取り組む。 (3)職員研修を兼ねた再犯防止講演会を実施する。 (4)矯正施設所在自治体会議において、矯正施設が所在する自治体特有の課題等を共有し、課題解決を図る。			
		令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	人権啓発標語入り回覧板の活用	担当課	市民協働推進課
------	----------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	人権尊重の理念を広く普及させ、人権に対する認識を深めてもらうために、市民に広く利用されている回覧板に人権啓発標語を入れて配布する。

R6	時期	通年			
実施 状況	場所	市民協働推進課			
	実施 内容	令和6年度は以下の通り人権啓発に取り組んだ。 ＜回覧板の配布＞ 56件350部の回覧板を配布した。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
			－	－	－
	取り組みの評価と方向				
概ね適正に実施することができた。今後も引き続き回覧板の配布を通じて人権啓発に取り組んでいく。					

R7	時期	通年			
	場所	市民協働推進課			
実施計画	事業内容	人権尊重の理念を広く普及させ、人権に対する認識を深めてもらうために、市民に広く利用されている回覧板に人権啓発標語を入れて配布する。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	労政ニュースを通じた人権啓発・広報	担当課	産業振興課
------	-------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会 企業・職場
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切にし、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	「宇治労政ニュース」を宇治市のホームページ上で公開することにより、労働情勢に関する情報や勤労者を対象とした事業の案内情報を広く提供し、労働者の利便と福祉の増進を図る。

R6	時期	6月、12月、1月、3月（発行の月）			
	場所	市ホームページ等			
実施状況	実施内容	男女共同参画課と調整し、人権に関する記事を掲載した。 ※宇治市内の一部の事業所にはメールで配信、または紙面配布した。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	掲載回数(回)	計画	実績	計画	実績
			4	4	4
	将来展望(令和8年度目標)				

→

取り組みの評価と方向

出生後の休業支援・時短就業の給付金や育児・介護休業法、次世代育成支援対策推進法の改正ポイントなどに関する情報を事業者等へ周知した。  
市ホームページ上での公開や希望者へのメール配信・紙面配布により、効率的に情報提供することができたので、今後も継続して取り組む。

R7	時期	不定期（年4～6回）			
	場所	市ホームページ等			
実施計画	事業内容	男女共同参画課と調整し、人権に関する記事を掲載する。 ※宇治市内の一部の事業所にはメールで配信、または紙面配布する。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	掲載回数(回)	4		—	

事業名称	身近に感じる人権講座開催事業	担当課	人権啓発課
------	----------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	「身近に感じる人権講座」の開催を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	①2月22日 ②2月24日 ③3月1日 ④3月8日				
実施 状況	場所	生涯学習センター他				
	実施 内容	①部落差別 「ジブリで考える人権のはなし - 明るく楽しい人権学習のすすめ -」 参加：60人 ②障がいのある人の人権「車いすバスケット ～ 目標を持つことの大切さ ～」 参加：41人 ③さまざまな人権問題「ミニコンサート と 映画上映会『いのちの停車場』」 参加：176人 ④女性の人権「国際女性デー映画上映会 『この世界の片隅に』」 参加：120人				
		評価指標（単位）				
		令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
		参加者数（人）	計画	実績	計画	
			428	260	397	↑
取り組みの評価と方向						
事業内容及び広報を工夫し、概ね計画通りに事業を進めることができた。今後もより多くの市民に人権尊重理念の普及を図るため、引き続き内容の充実に努める。						

R7	時期	2月～3月			
	場所	生涯学習センター他			
実施計画	事業内容	市民生活の身近な問題を取り上げるなど、市民が気軽に参加し、人権問題を分かりやすく楽しく学習する機会として、男女共同参画課、障害福祉課、生涯学習課と共同で連続講座を開催する。令和7年度においても引き続き事業内容を工夫することにより、市民のニーズを的確に捉えた講座を開催する。			
		評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考
	参加者数（人）		260		—

事業名称	人権週間記念「ひゅうまんフェスタうじ」開催事業	担当課	人権啓発課
------	-------------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	「ひゅうまんフェスタうじ」の開催を通じて、人権週間を広く市民に周知し、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	11月23日、12月3日				
実施状況	場所	生涯学習センター 及び 市役所8階 大会議室				
	実施内容	11月23日 ひゅうまんフェスタうじ ・映画上映会「パウ・パトロール・ザ・マイティ・ムービー」 ・中学生による人権作文の朗読 ・その他 パネル展示、啓発物品の配布 ・参加：500人				
		12月3日 人権ビデオ上映会 ・ビデオ上映「ドラマ “やさしく”の意味 ～おばあちゃんは認知症だった～」 「水平社を立ち上げた人々」 ・人権講座「同和問題から『人権って何?』を考える」 ・参加：15人				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)  ↑
	参加者数(人)	計画	実績	計画	実績	
			500	400	515	
取り組みの評価と方向						
啓発効果の高い映画の選定を行うとともに、人権問題を身近なものとして考えてもらえるように中学生による人権作文の朗読を行った。人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深めるために引き続き事業内容を精査していく必要がある。						

R7	時期	人権週間（12月4日～10日）			
実施計画	場所	生涯学習センター他			
	事業内容	多数の市民が気軽に参加できるようイベント方式により開催し、人権に関する団体による体験教室や模擬店販売、音楽演奏等で盛り上げながら、人権にかかわるテーマを題材にした映画上映を実施する。「中学生人権作文コンテスト」各賞受賞作品の朗読についても、啓発効果を期待して、引き続き取り組む。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	参加者数(人)	400		—	

事業名称	人権啓発物品配布事業	担当課	人権啓発課
------	------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	人権啓発標語入り啓発物品の配布を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	—			
	実施内容	<p>障害者福祉施設等に物品作成依頼を行い、人権啓発標語入りの啓発物品を作成し、各種行事（人権講座、二十歳のつどい等）にて配布した。</p> <p>・配布個数 3,370個</p> <p>作成個数（●雑巾550個 ●なないろたわし140個 ●くみひもストラップ140個 ●エコたわし100個 ●缶バッジ380個 ●ビーズキーホルダー150個 ●染和紙風ポケットティッシュ120個 ●和紙手織りコースター130個 ●コットンキャンディー100個 ●ストラップ40個 ●ティッシュケース120個 ●陶製ホルダー200個 ●二十歳のつどい用除菌ウェットティッシュ1,200個）</p>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	配布数（個）	計画	実績	計画	実績
		—	4,400	4,800	3,370
	将来展望(令和8年度目標)				

→

取り組みの評価と方向

啓発物品の変更等により配布個数が減少したが、啓発標語や物品の内容を工夫することにより、さまざまな人権問題の啓発を行うことができた。今後も引き続き標語の内容や作成する物品についての精査が必要である。

R7	時期	通年			
実施計画	場所	—			
	事業内容	人権啓発標語入りの啓発物品を作成し、各種行事（人権講座、二十歳のつどい等）において配布する。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	配布数（個）	4,400		—	

事業名称	人権啓発スポットCM放送事業	担当課	人権啓発課
------	----------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会 家庭
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	放送メディアを通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	8月1日～8月31日、12月1日～12月31日			
実施 状況	場所	ー			
	実施 内容	コミュニティ放送（FMうじ）を通じて、人権啓発スポットCM（20秒）を放送した。1日3回、延べ186回放送した。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	放送回数(回)	計画	実績	計画	実績
			186	186	186
	将来展望(令和8年度目標)				
186					
取り組みの評価と方向					
放送回数は昨年度と同数となっている。より効果を上げるために、放送内容、時間について今後も検討していく必要がある。					

R7	時期	人権強調月間（8月）、人権週間（12月）			
実施計画	場所	—			
	事業内容	人権強調月間（8月1日～31日）及び人権週間（12月4日～10日）にあわせて、FMうじ放送を通じて人権啓発スポットCM（20秒）を放送する。今後もCMの内容をより啓発効果の期待できるものとなるよう検討していく。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	放送回数(回)	186		—	

事業名称	人権啓発視聴覚教材貸出事業	担当課	人権啓発課
------	---------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	保育所 幼稚園 学校 地域社会 家庭 企業・職場
	事業対象	市民 市職員等 教職員等 医療関係 保健福祉関係 メディア
	人権教育・啓発の視点	生涯学習としての人権教育・啓発
	事業目的	人権啓発視聴覚教材の貸出を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	通年				
実施 状況	場所	—				
	実施 内容	人権啓発・研修等の教材として、人権問題に関する啓発ビデオ・DVDの貸出を行った。 ・貸出本数：20本				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	貸出本数（本）	計画	実績	計画	実績	
			26	40	20	
	↑					
取り組みの評価と方向						
個人による利用は減少傾向にあるものの、人権強調月間や人権週間の事業に合わせて人権啓発教材の上映会を行うなど、広く市民に向けた啓発に努めている。						

R7	時期	通年			
実施計画	場所	—			
	事業内容	人権啓発・研修等の教材として、人権問題に関する啓発ビデオ・DVDの貸出を行う。今年度においても、貸出本数の増加を図るため効果的な広報を検討の上、実施する。 ・保有本数：113本			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	貸出本数（本）	40		—	

事業名称	平和☆ひゅうまん夏フェスタ開催事業	担当課	人権啓発課
------	-------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	命、愛、友情などをテーマにした子ども向け映画の鑑賞を通じて、子どもの人権意識を育む。

R6	時期	8月18日			
実施状況	場所	文化センター・中央公民館他			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画上映会「FLY!」 参加：800人</li> <li>・宇治市戦争体験アーカイブ「～あの頃の記憶を紡ぎ 繋いでいく～」</li> <li>・「平和の絵」展</li> <li>・戦争遺品展</li> <li>・平和のおはなし会</li> <li>・その他</li> </ul> 人権啓発パネル展示、障害者福祉施設による模擬店、人権擁護委員の活動紹介、啓発資料の配布			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	参加者数(人)	計画	実績	計画	実績
			700	1,000	800
	将来展望(令和8年度目標)				

↑

取り組みの評価と方向

人権強調月間事業及び平和啓発事業として実施し、より人権について考えてもらえるように上映映画を選定した。また、企画コーナーについても障害福祉課と連携したミニ手話教室を開催するなど内容についても工夫した。今後も障害者福祉施設や人権擁護委員と協力していくとともに、より啓発効果を高めるために引き続き事業内容を精査していく必要がある。

R7	時期	人権強調月間（8月）			
実施計画	場所	文化センター・中央公民館他			
	事業内容	夏休み期間中に映画上映会を開催し、会場に人権啓発パネル等を展示する。また、人権擁護委員や障害者福祉施設等と協力して、より啓発効果を期待できる内容を検討の上、実施する。宇治市平和都市推進協議会との共催により、「平和☆ひゅうまん 夏フェスタ」として、平和訪問団員による報告や平和写真展等を同時開催し、人権問題・人の命の尊さ・平和について考える題材を提供する。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	参加者数(人)	1,000		—	

事業名称	人権情報紙「jinken」配布事業	担当課	人権啓発課
------	-------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会 家庭
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	人権情報紙「jinken」の配布を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	8月・1月			
実施状況	場所	—			
	実施内容	<p>山城人権ネットワーク推進協議会(※)が発行する「人権を考える情報紙『jinken』」を、市内全戸に配布するとともに公共施設等に配架した。</p> <p>※山城15市町村の行政・企業・民間団体で構成し、「人権尊重理念の普及」と「さまざまな人権問題の解決」に向けた広域連携・市民連携の取り組みを実施。</p>			
	評価指標(単位)	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
	取り組みの評価と方向				
	概ね適正に実施することができた。人権啓発の一層の充実を図るため、今後も継続的に配布していく。				

R7	時期	8月・1月			
実施計画	場所	—			
	事業内容	山城人権ネットワーク推進協議会が発行する「人権を考える情報紙『jinken』」を、市内全戸に配布するとともに公共施設等に配架する。			
	評価指標(単位)	令和7年度(計画)		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	人権擁護委員の活動支援	担当課	人権啓発課
------	-------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	保育園 幼稚園 学校 地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	人権擁護委員の活動支援を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	—			
	実施内容	<p>城南人権擁護委員協議会(※)の活動、本市が推薦した人権擁護委員（10人）が取り組む人権相談・「人権の花」運動等の人権擁護・啓発活動に対して連携・支援を行う。</p> <p>・人権相談 毎月第2木曜日 10時～15時（12時～13時は休憩） 市役所内会議室で開催</p> <p>・人権の花運動 人権擁護委員が市内小学校等に伺い、児童にスイセンの花の球根を植え育ててもらうことで、人権思想の理解を深めることを目的に実施</p> <p>令和6年度実施校・・・10月15日 東宇治幼稚園 参加園児 76人  10月28日 木幡幼稚園 参加園児 8人  11月11日 神明幼稚園 参加園児 10人</p> <p>※宇城久、綴喜、相楽区域に属する人権擁護委員で構成、人権が尊重されお互いに共存できる社会の実現に向け、各種研修会の開催や地域に密着したさまざまな人権擁護活動を展開。</p>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
	取り組みの評価と方向				
	<p>概ね適正に活動を支援することができた。今後も、各種事業において人権擁護委員との連携を図り、人権擁護活動を支援していくことにより、さらに啓発効果を高めていく。</p>				

R7	時期	通年			
実施計画	場所	—			
	事業内容	<p>城南人権擁護委員協議会の活動、本市が推薦した人権擁護委員（10人）が取り組む人権相談・街頭啓発・「人権の花」運動等の人権擁護・啓発活動に対して連携・支援を行う。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	人権啓発懸垂幕の掲示	担当課	人権啓発課
------	------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	人権啓発懸垂幕の掲示を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	憲法週間（5月1日～7日）、人権強調月間（8月1日～31日）、人権週間（12月4日～10日）			
実施状況	場所	市役所庁舎			
	実施内容	<p>人権に関する啓発標語を表記した懸垂幕を市役所庁舎東側壁面に掲示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月1日～7日 憲法週間 「人権を守り平和で明るい社会を」</li> <li>・8月1月～30日 人権強調月間 「育てよう一人一人の人権意識 思いやりの心・かけがえのない命を大切に」</li> <li>・12月4日～10日 人権週間 「育てよう一人一人の人権意識」</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
			—	—	—
取り組みの評価と方向					
<p>実施については、懸垂幕を掲示する機械が故障している期間があったがそれ以外の期間では適正に実施することができた。今後も懸垂幕を掲示することで、積極的に人権啓発活動を行う。</p>					

R7	時期	憲法週間（5月1日～7日）、人権強調月間（8月1日～31日）、人権週間（12月4日～10日）			
実施計画	場所	市役所庁舎			
	事業内容	<p>人権に関する啓発標語を表記した懸垂幕を市役所庁舎東側壁面に掲示する。</p> <p>「5月1日～7日 憲法週間 人権を守り平和で明るい社会を」</p> <p>「8月は人権強調月間です 育てよう一人一人の人権意識 思いやりの心・かけがえのない命を大切に」</p> <p>「12月4日～10日 人権週間 育てよう一人一人の人権意識」</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	市政だより等を通じた人権啓発・広報	担当課	人権啓発課
------	-------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会 家庭
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	市政だより等における記事掲載を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	市政だより・市ホームページ等			
	実施内容	<p>市政だより及び市ホームページ等にさまざまな人権問題に関する情報等を継続的に掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権相談（特設相談所）</li> <li>・啓発記事</li> <li>・イベント開催</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
	取り組みの評価と方向				
	概ね適正に実施することができた。今後も広く人権問題の意識を深めてもらえるようにする。				

R7	時期	通年			
実施計画	場所	市政だより・市ホームページ等			
	事業内容	市政だより及び市ホームページ等に、さまざまな人権問題に関する情報等を継続的に掲載する。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	人権啓発ギャラリー設置事業	担当課	人権啓発課
------	---------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	人権啓発ギャラリーの設置を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	①8月1日～8月9日 ②12月3日～11日			
実施状況	場所	市役所市民交流口ビー			
	実施内容	<p>人権啓発パネルや人権擁護啓発ポスターコンクール応募作品の展示を行うとともに、人権に関するアンケートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月人権強調月間 「世界人権宣言」「さまざまな人権問題」に関するパネル展示 人権擁護委員の活動紹介、各種ポスター等</li> <li>・ 12月人権週間 人権擁護啓発ポスターコンクール応募作品の展示 「さまざまな人権問題」に関するパネル展示、各種ポスター等</li> </ul>			
	sekai	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
	取り組みの評価と方向				
	概ね適正に実施することができた。今後も人権啓発パネルやポスターの展示を行うとともに、内容をより啓発効果の期待できるものに検討の上、実施する。				

R7	時期	・ 人権強調月間（8月）・ 人権週間（12月4日～10日）			
実施計画	場所	市役所市民交流口ビー 他			
	事業内容	人権擁護委員と連携して、人権啓発パネルやポスター、DVD上映等、人権啓発に関する展示を行う。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	街頭啓発参加事業	担当課	人権啓発課
------	----------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	街頭啓発を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	—			
実施状況	場所	—			
	実施内容	<p>京都人権啓発推進会議(※)が主催する府内一斉の街頭啓発に参加し、人権啓発物品を配布して市民啓発を行うもの。</p> <p>令和6年2月22日、京都府より「毎年8月・12月に街頭啓発を実施してきたが、昨今のインターネット上の人権侵害の増加に伴い、SNSを活用した啓発等を新たに計画していることから次年度以降、実施しない方針とした。については人権啓発物品の配付及び京都人権啓発推進会議主催の街頭啓発を廃止する」旨の通知を受けた。宇治市としても街頭啓発の効果や市独自の実施方法等を検討した結果、京都府と同様、街頭啓発事業を実施しないこととした。</p>			
	数値目標なし	令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績
		—	2回	—	—
	将来展望(令和8年度目標)				
	—				
	取り組みの評価と方向				
	<p>街頭啓発の場所を市内の大型商業施設で実施する等工夫をしてきたが、新型コロナウイルス感染症流行後は啓発物品を受け取る市民の数は減少傾向にある。また、啓発イベント等とは違いアンケートによる啓発効果の測定も難しい。このため啓発物品を直接手渡す方法は一定役目を終えたと考える。</p>				

R7	時期	—			
実施計画	場所	—			
	事業内容	令和7年度以降実施しない予定。			
	評価指標(単位)	令和7年度(計画)		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	各種研修会参加事業	担当課	人権啓発課
------	-----------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	企業・職場
	事業対象	市職員等
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	人権尊重の理念やさまざまな人権問題の本質について十分に理解するとともに、その現状と課題について認識し、問題解決に積極的に取り組むことができるより高い人権意識を持った職員を育成する。

R6	時期	通年					
	場所	各所					
実施状況	実施内容	関係機関・関係団体が主催する各種研修会に参加した。					
		・ 部落解放人権政策確立要求山城地区実行委員会 総会・記念講演会 5月17日 宇治田原町総合文化センター 参加者 13人					
		・ 部落解放人権政策確立要求宇治市実行委員会 総会・記念講演会 9月12日 コミュニティワークうじ館 参加者 14人					
		・ 京都人権文化講座 9月25日 京都府部落解放センター 参加者 1人					
		・ 近畿地区人権同和行政促進協議会研究集会 1月21日 滋賀県大津市ピアザ淡海 参加者 1人					
		令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)	
数値目標なし		計画	実績	計画	実績	—	
		<div></div>	—	—	—		
取り組みの評価と方向							
各種研修会への参加により、職員の人権意識を高めることができた。今後も人権教育指導者研修会への参加をはじめ、高い人権意識を持った職員を育成するため、研修会の内容を精査した上で職員人権研修として参加していくことが必要である。							

R7	時期	通年			
	場所	各所			
実施計画	事業内容	関係機関・関係団体が主催する各種研修会に参加する。			
		評価指標(単位)		令和7年度(計画)	
		数値目標なし		備考	
		—		—	

事業名称	庁内人権通信講座「人権ゼミ」	担当課	人権啓発課
------	----------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	企業・職場
	事業対象	市職員等
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切にし、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	市職員向けの人権研修や人権問題全般についての職場啓発として庁内電子掲示板を利用して、全職員に「人権ゼミ」を配信し、職員の人権意識の向上に努める。

R6	時期	①6月28日 ②9月11日 ③12月25日 ④3月31日					
実施状況	場所	庁内電子掲示板					
	実施内容	職員の意識啓発につながる内容を4回配信した。 ・ 令和6年6月 「SNS上での人権侵害について」 ・ 9月 「実は女性に厳しすぎたオリンピック」（女性の人権） ・ 12月 「こんなとき、あなたならどうする？」（子ども人権、高齢者の人権） ・ 令和7年3月 「『合理的配慮』を知っていますか？」（障害のある人の人権）					
	・	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)	
	配信回数(回)	計画	実績	計画	実績	→	
			4	4	4		
	取り組みの評価と方向						
	身近な問題や最近の話題を取り上げ、職員自らの気づきを引き出すよう記事を工夫し配信した。引き続き職員の人権感覚を養えるような記事となるよう工夫して配信していく。						

R7	時期	通年			
実施計画	場所	庁内電子掲示板			
	事業内容	<p>身近な問題や最近の話題を取り上げながら、さまざまな視点で人権について考える機会を提供することで職員の人権感覚を養う。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	配信回数(回)	4		状況に応じて適時配信する。	

事業名称	いじめ防止対策連絡会議運営事業	担当課	人権啓発課
------	-----------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども
	人権教育・啓発の場	学校 地域社会
	事業対象	市民 教職員等
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	いじめ防止対策推進法の趣旨に基づき、学校、教育委員会その他いじめの防止等に関係する機関及び団体の連携を図るため、宇治市いじめ防止対策連絡会議を設置する。

R6	時期	2月12日			
実施 状況	場所	宇治市役所 8階大会議室			
	実施 内容	・宇治市いじめ防止対策連絡会議を開催し、宇治市教育委員会から市立小中学校におけるいじめの状況について報告するとともに、各機関・団体の取り組みについて情報提供及び意見交換を行った。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
			—	—	—
取り組みの評価と方向					
適切に実施することができた。市内でいじめ問題が深刻になった場合、関係機関の連携は大きな効果を発揮すると考えられることから、今後も定期的に連絡会議を開催し、いじめ防止に関する連携を図る必要がある。					

R7	時期	通年			
	場所	—			
実施計画	事業内容	<p>いじめの問題対策のために、学校、教育委員会の他、市内の関係機関・団体の連携を強化することを目的とした宇治市いじめ防止対策連絡会議を開催する。</p> <p>【構成機関・団体】 京都地方法務局宇治支局、宇治警察署、宇治児童相談所、人権擁護委員宇治市部会、宇治市青少年健全育成協議会、宇治市連合育友会、宇治市校長会、宇治市、宇治市教育委員会</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	性的マイノリティに関する取り組み	担当課	人権啓発課
------	------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	その他
	人権教育・啓発の場	保育所 幼稚園 学校 地域社会 家庭 企業・職場
	事業対象	市民 市職員等 教職員等 医療関係者 保健福祉関係者 メディア関係者
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	性的少数者は社会生活のさまざまな場面で、差別や偏見を受けることがあることから、性に多様性があることへの理解を深め、誰もが安心して暮らしていけるよう理解と認識を広げるための啓発を推進する。

R6	時期	通年 6月10日～6月13日			
実施 状況	場所	各所			
	実施 内容	・市役所内に性的マイノリティに関するチラシを配架するとともに、各種人権啓発事業において啓発を行った。 ・6月10日～6月13日には市役所ロビーにおいて、性的マイノリティに関する啓発ポスターの掲示や啓発DVDの上映等を行った。			
	定時	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
			—	—	—
	取り組みの評価と方向				
各種人権啓発事業において啓発活動を行い、性的マイノリティへの理解について啓発を進めた。					

R7	時期	通年 6月10日～6月13日			
	場所	各所			
実施計画	事業内容	<p>市役所内に性的マイノリティに関するチラシを配架するとともに、各種人権啓発事業において啓発を行う。また、6月のプライド月間には市役所ロビーにて性的マイノリティに関わる啓発ポスター等の掲示を行い、性的マイノリティへの理解増進に努める。加えて、パートナーシップ制度についての調査・研究を進める。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	善法文化祭開催事業	担当課	コミュニティワークうじ館
------	-----------	-----	--------------

推進計画との関係	人権問題の分野	同和問題
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	地域活動の場である「善法文化祭」の開催を通して、市民の交流を促進するとともに、同和問題をはじめさまざまな人権問題に対する市民の理解を深める。

R6	時期	—			
	場所	—			
	実施内容	善法地域まちづくり推進委員会において、例年開催している「善法文化祭」および「善法地域人権フェスタ」の2つのイベントを、R7年度に統合して開催することとし、R6年度の「善法文化祭」は開催しないこととした。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	参加者数(人)	計画	実績	計画	実績
			200	400	—
	→				
取り組みの評価と方向					
「善法文化祭」は開催しなかったものの、会議を重ねることで、地域住民間の交流を促進することができた。今後も地域との協働のもと、活発な市民交流を促進し、人権が尊重されるまちづくりの取り組みを推進する。					

R7 実施計画	時期	11月			
	場所	コミュニティワークうじ館			
	事業内容	善法地域まちづくり推進委員会とコミュニティワークうじ館が協働して開催する。 対象：全市域 参加：400人 内容：作品展示、ステージ発表、模擬店、啓発物品の配布など			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	参加者数(人)	400		－	

事業名称	まちづくり推進事業	担当課	コミュニティワークうじ館
------	-----------	-----	--------------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	地域活動の場である「善法夏まつり」を名称変更した「善法地域人権フェスタ」や「防災フェスタ」の開催を通して、市民交流と地域活動を促進するとともに、さまざまな人権問題に対する市民の理解を深める。

R6	時期	11月2日			
実施状況	場所	コミュニティワークうじ館			
	実施内容	<p>善法地域まちづくり推進委員会とコミュニティワークうじ館が協働して開催した。</p> <p>&lt;善法地域人権フェスタ&gt;</p> <p>対象：全市域 参加：300人</p> <p>内容：模擬店、啓発物品の配布など</p>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	参加者数(人)	計画	実績	計画	実績
			-	430	300
	将来展望(令和8年度目標)				

→

取り組みの評価と方向

地域活動を活性化させるとともに、市民一人ひとりが「人権」について考えることを発信できる取り組みとなった。今後も地域との協働のもと、活発な市民交流を促進し、人権が尊重されるまちづくりの取り組みを推進する。

R7	時期	11月			
実施計画	場所	コミュニティワークうじ館			
	事業内容	<p>善法地域まちづくり推進委員会とコミュニティワークうじ館が協働して開催する。</p> <p>&lt;善法地域人権フェスタ&gt;</p> <p>対象：全市域 参加：400人</p> <p>内容：ステージ発表、模擬店、啓発物品の配布など</p> <p>&lt;防災フェスタ&gt;</p> <p>対象：周辺地域住民 参加：30人</p> <p>内容：AED講習など</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	参加者数(人)				
		430		—	

事業名称	隣保館啓発交流事業	担当課	コミュニティワークうじ館
------	-----------	-----	--------------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般 同和問題
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民 市職員等 教職員等
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	人権講座の開催を通して、人権尊重理念の普及と同和問題をはじめさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	通年				
実施 状況	場所	コミュニティワークうじ館				
	実施 内容	・人権問題学習会：6回 ・人権映画上映会：1回 ・人権交流教室：フラワーアレンジメント教室など 38回 ・人権学習教室：書道教室など 50回				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	実施回数(回)	計画	実績	計画	実績	
			132	141	95	
	→					
	取り組みの評価と方向					
登録者の体調不良等の事情により開催を休止した教室があったものの、講座を重ねることで、同和問題をはじめとした人権問題の解決に向けた意識の向上を図ることができた。今後も内容のさらなる充実・強化を図り、より効果的な人権教育・啓発の取り組みを推進する。						

R7	時期	通年			
実施計画	場所	コミュニティワークうじ館			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権問題学習会：9回</li> <li>・人権映画上映会：1回</li> <li>・人権交流教室：フラワーアレンジメント教室など 40回</li> <li>・人権学習教室：手芸教室など 90回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施回数(回)	140		—	

事業名称	隣保館デイサービス事業	担当課	コミュニティワークうじ館
------	-------------	-----	--------------

推進計画との関係	人権問題の分野	高齢者の人権、障害のある人の人権
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	デイサービス事業を通して地域活動を促進し、地域福祉の推進に向けた住民意識の高揚を図るとともに、高齢者や障害のある人の人権をはじめさまざまな人権問題について理解を深める。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	コミュニティワークうじ館			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者創作教室71回</li> <li>・ 健康生活講座3回</li> <li>・ 給食サービス22回</li> <li>・ 高齢者交流会2回</li> <li>・ 浴室サービス99回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	実施回数（回）	計画	実績	計画	実績
			156	197	197
	取り組みの評価と方向				
	<p>→</p> <p>デイサービス各事業を開催し、地域活動の促進や地域福祉の意識高揚を図るとともに、さまざまな人権問題の解決に向けての啓発ができた。今後も事業対象者のニーズを把握し、計画的・効果的な事業の実施に努める。</p>				

R7	時期	通年			
実施計画	場所	コミュニティワークうじ館			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者創作教室77回</li> <li>・ 健康生活講座3回</li> <li>・ 給食サービス22回</li> <li>・ 高齢者交流会2回</li> <li>・ 浴室サービス99回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施回数（回）	203		—	

事業名称	和太鼓教室開催事業	担当課	コミュニティワークこはた館
------	-----------	-----	---------------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	和太鼓教室の開催及び発表を通じて、市民の交流を促進し、人権教育・啓発の推進に努める。

R6	時期	通年（毎週火曜日）			
実施状況	場所	河原青少年センター			
	実施内容	<p>対 象：全市域</p> <p>実施回数：48回</p> <p>講 師：京都太鼓連盟会員</p> <p>内 容：和太鼓教室の開催及び発表</p>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	実施回数(回)	計画	実績	計画	実績
			44	48	48
	将来展望(令和8年度目標)				
	→				
	取り組みの評価と方向				
	概ね順調に実施することができ、発表の場も確保できた。来年度も引き続き、さらに幅広く人権について考えてもらえるよう取り組む必要がある。				

R7	時期	通年（毎週火曜日）		
実施 計画	場所	河原青少年センター		
	事業 内容	対 象：全市域		
		予定回数：48回		
		講 師：京都太鼓連盟会員		
		内 容：和太鼓教室の開催及び発表		
	評価指標（単位）		令和7年度（計画）	備考
実施回数(回)		48	—	

事業名称	隣保館啓発交流事業	担当課	コミュニティワークこはた館
------	-----------	-----	---------------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般 同和問題
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	人権講座等の開催を通じて、人権尊重理念の普及と同和問題をはじめさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	通年				
実施 状況	場所	コミュニティワークこはた館				
	実施 内容	・ 人権問題学習会：2回 ・ パソコン教室：22回 ・ スマホ教室：6回 ・ ふれあいコンサート：1回 ・ 映画上映会：2回				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)  →
	実施回数(回)	計画	実績	計画	実績	
		<div></div>	32	31	33	
	取り組みの評価と方向					
	各種講座等で参加者相互の交流の機会をつくることで、人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。					
今後も内容のさらなる充実・強化を図り、より効果的な人権教育・啓発の取り組みを推進する。						

R7	時期	通年			
実施計画	場所	コミュニティワークこはた館			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権問題学習会：2回</li> <li>・パソコン教室等：24回</li> <li>・ふれあいコンサート：3回</li> <li>・映画上映会：2回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施回数(回)	31		—	

事業名称	隣保館デイサービス事業	担当課	コミュニティワークこはた館
------	-------------	-----	---------------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切にし、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	デイサービス事業を通じて地域活動を促進し、地域福祉の推進に向けた住民意識の高揚を図るとともに、高齢者や障害のある人の人権をはじめさまざまな人権問題について理解を深める。

R6	時期	通年				
実施 状況	場所	コミュニティワークこはた館				
	実施 内容	<div>・ 健やかからだ講座：10回</div> <div>・ 高齢者創作教室(園芸教室、手作り教室等)：85回</div> <div>・ チャレンジクッキング：5回</div> <div>・ 健康講座（腸活講座）：4回</div>				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	実施回数（回）	計画	実績	計画	実績	
			104	105	104	→
	取り組みの評価と方向					
デイサービス各事業を開催し、地域活動の促進や地域福祉の意識高揚を図るとともに、さまざまな人権問題の解決に向けての啓発ができた。今後も事業対象者のニーズを把握し、計画的・効果的な事業の実施に努める。						

R7	時期	通年			
実施計画	場所	コミュニティワークこはた館			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健やかからだ講座10回</li> <li>・ 高齢者創作教室(園芸教室、手作り教室等)85回</li> <li>・ チャレンジクッキング5回</li> <li>・ 健康講座：5回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施回数（回）	105		—	

事業名称	人権講座開催事業	担当課	玉池集会所
------	----------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	人権講座の開催を通じて、人権尊重理念の普及とさまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深める。

R6	時期	通年			
	場所	玉池集会所			
実施状況	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生花教室11回</li> <li>・手芸教室0回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	実施回数（回）	計画	実績	計画	実績
			10	45	11
	将来展望(令和8年度目標)				

→

取り組みの評価と方向

受講者の都合により手芸教室が開催できなかったが、生花教室を通じておおむね地域活動の促進や地域福祉の意識高揚を図ることができ、併せて人権学習を実施することにより、さまざまな人権問題の解決に向けての啓発ができた。今後は手芸教室の運営について検討し、人権教育・啓発の推進を図る。

R7	時期	通年		
実施 計画	場所	玉池集会所		
	事業 内容	生花教室、手芸教室ともに受講者の都合により、令和7年度については実施しない予定。 また、今後の両教室の在り方については検討する必要がある。		
	評価指標（単位）		令和7年度（計画）	備考
	実施回数（回）		45	—

事業名称	女性問題アドバイザー派遣事業	担当課	男女共同参画課
------	----------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	保育所 幼稚園 学校 地域社会 家庭 企業・職場
	事業対象	市民 市職員等 教職員等 医療関係 保健福祉関係 メディア
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	各所で学習機会を提供し、女性問題や男女共同参画社会の形成に向けた市民意識の高揚を図る。

R6	時期	通年				
実施 状況	場所	各所				
	実施 内容	男女共同参画にかかる研修会等に女性問題アドバイザーを講師として派遣し、学習機会を提供した。 行政6件 民間3件				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)  ↑
	派遣回数(回)	計画	実績	計画	実績	
			12	14	9	
	取り組みの評価と方向					
令和6年度は民間からの要請が3件であり、実施件数が昨年度より減少した。今年度も利用増に向けて幅広く派遣の呼びかけを行う必要がある。						

R7	時期	通年
	場所	各所
実施計画	事業内容	市内の事業所や団体等の要請に応じ、研修会等に女性問題アドバイザーを講師として派遣し、学習機会を提供する。
	評価指標（単位）	令和7年度（計画） 備考
	派遣回数(回)	14 —

事業名称	情報誌発行事業	担当課	男女共同参画課
------	---------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民 市職員等 教職員等 医療関係 保健福祉関係 メディア
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	情報誌の発行を通じて、男女共同参画社会の形成に対する市民の理解を深める。

R6	時期	通年				
実施 状況	場所	—				
	実施 内容	市内公共施設に配架するとともにセンター事業の際に配布、また市ホームページに掲載し、 啓発に努めた。 情報誌「リズム」（2,000部/回）4回発行				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	発行回数(回)	計画	実績	計画	実績	
			4	4	4	
	取り組みの評価と方向					
事業実施に合わせ、タイムリーに市民に啓発することができた。今後も継続的に発行する。						

R7	時期	通年			
実施計画	場所	—			
	事業内容	市内公共施設等に配架するとともにセンター事業の際に配布する。 情報誌「リズム」（2,000部/回）4回発行			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	発行回数(回)	4		—	

事業名称	男女共同参画週間「UJIのつどい」開催事業	担当課	男女共同参画課
------	-----------------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	地域社会 家庭
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	「UJIのつどい」の開催を通じて、「男女共同参画社会基本法」の基本理念を周知するとともに、地域に根ざした男女共同参画社会の形成に向けた市民意識の高揚を図る。

R6	時期	7月6日			
実施 状況	場所	男女共同参画支援センター			
	実施 内容	【講演会】男女共同参画UJIのつどい2024講演会 フェミニズムがひらいた道～これまで、そしてこれから～ 講師：上野 千鶴子氏（社会学者・東京大学名誉教授） 参加：125人			
		令和5年度		令和6年度	
	参加者数(人)	計画	実績	計画	実績
			115	100	125
		将来展望(令和8年度目標)			
	100				
	取り組みの評価と方向				
	「男女共同参画週間UJIのつどい」の前身の「婦人週間UJIのつどい」の第1回に講演いただいた社会学者の上野千鶴子さんに、フェミニズムとはどんな考えなのか、歴史の中で日本のフェミニズムが成しえたことと成しえなかったこと、今起こっていること、さらにこれからへの展望と次世代に向けたメッセージをお話しいただいた。				

R7	時期	6月22日			
実施計画	場所	男女共同参画支援センター			
	事業内容	<p>地域に暮らす誰もがお互いを思いやり支えあい、自らの意思によって社会のあらゆる分野に参画できる社会の実現について考える機会となる講演会や展示を実施する。</p>			
	評価指標（単位）		令和7年度（計画）		備考
	参加者数(人)		100		会場100人

事業名称	UJIあさぎりフェスティバル開催事業	担当課	男女共同参画課
------	--------------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	「UJIあさぎりフェスティバル」の開催を通じて、男女共同参画社会の形成に向けた市民理解を深める。

R6	時期	10月5日、10月6日			
実施 状況	場所	男女共同参画支援センター			
	実施 内容	市民団体と行政による実行委員会形式により開催した。講演会、体験教室、ワークショップ、啓発パネル展示、物品販売等を実施するとともに、屋外で女性の手作りの品等を販売する「ここからチャレンジマルシェを同時開催した。			

R7	時期	10月4日、10月5日（予定）		
実施 計画	場所	男女共同参画支援センター		
	事業 内容	市民団体等と行政による実行委員会形式により開催する。 講演会・体験教室・ワークショップの開催、啓発パネル展示、模擬店設置など		
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）	備考	
	参加者数(人)	1,000	—	

事業名称	各種セミナー開催事業	担当課	男女共同参画課
------	------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	地域社会 企業・職場
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	各種セミナーの開催を通じて、女性のエンパワメントを支援するとともに、男女共同参画社会の形成に向けた市民理解を深める。

R6	時期	通年				
実施状況	場所	男女共同参画支援センター他				
	実施内容	①男女共同参画基礎講座：56人 内容：はて？社会は本当に変わったか				
		②オレンジリボン・パープルリボンセミナー：43人 内容：きょうだい児支援で感じたこと（こども福祉課との共催）				
		③女性のエンパワメント支援セミナー：17人 内容：心穏やかに働くための怒りのマネジメント～イライラ・ムカムカとの付き合い方～				
		④国際女性デー映画上映会：120人 内容：この世界の片隅に				
		⑤女性の健康支援セミナー：33人 内容：教えてDr. 今日から「骨活」				
		⑥自殺対策関連セミナー：23人（会場21人 オンライン2人） 内容：思春期・青年期の自傷・自殺対策と援助要請力の育成について				
		⑦男性のための男女共同参画講座（3回開催）：延べ47人				
		⑧多様な働き方セミナー（2回開催）：延べ37人 内容：好きを仕事にして起業・副業する				
		⑨困難を抱える女性のためのセミナー：32人 内容：「大人の生きづらさ」を生むACE（エース）を考える				
評価指標（単位）		令和5年度		令和6年度	将来展望(令和8年度目標)	
参加者数（人）		計画	実績	計画	実績	700
			498	450	420	
取り組みの評価と方向						
前年度と同様の事業を実施した。参加者数は前年度より減少したが、おおむね確保できた。今後もより一層の内容の充実と参加者の増加に努める。						

R7	時期	通年			
実施計画	場所	男女共同参画支援センター			
	事業内容	男女共同参画基礎講座、女性の起業・就業応援セミナー、オレンジリボン・パープルリボンセミナー、国際女性デー映画上映会、女性の健康支援セミナー、自殺対策関連セミナー、男性向けのセミナーや、困難を抱える女性のためのセミナー等を充実させる。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	参加者数（人）	600		—	

事業名称	市民企画事業奨励事業・サポート事業・地域推進支援事業	担当課	男女共同参画課
------	----------------------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	地域社会 企業・職場
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	市民が企画・運営する活動を支援し、男女共同参画社会の形成に向けた市民活動を促進する。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	男女共同参画支援センター他			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民企画事業奨励事業 2件</li> <li>・市民企画サポート事業 5件</li> <li>・地域推進支援事業 0件</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	実施事業数（件）	計画	実績	計画	実績
			6	9	7
	将来展望(令和8年度目標)				

12
----

取り組みの評価と方向					
<p>前年度よりも1件増加し、地域に根差した男女共同参画社会の推進に向けた市民団体の事業が実施された。今後も引き続き男女共同参画社会の形成に向けた市民活動を推進する。</p>					

R7	時期	通年			
実施計画	場所	男女共同参画支援センター他			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民企画事業奨励事業 対象となる事業に奨励金を交付</li> <li>・市民企画サポート事業 センター会議室・付属設備の無料貸出、センターの印刷機使用、公共施設へのチラシ配布など広報活動への協力、事業保育、センタースタッフによる助言・指導</li> <li>・地域推進支援事業 自治会、事業所等の取組に奨励金を交付</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施事業数（件）	9		—	

事業名称	ここからチャレンジ相談事業	担当課	男女共同参画課
------	---------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	自分のこととして考える人権教育・啓発
	事業目的	男女共同参画社会の実現に向けた協働のまちづくりを推進するため、NPOや市民団体等の育成を図るとともに、女性のさまざまな分野へのチャレンジを支援する。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	男女共同参画支援センター他			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここからチャレンジ相談事業(委託) 件数104件 24回実施 毎月第2・4金曜日の午後1～7時</li> <li>・起業カフェ yukichi 6回実施 奇数月の第4金曜日</li> <li>・ここからチャレンジマルシェ 5回実施 延べ201ブース (男女共同参画週間、あさぎりフェスティバル、オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン、HAPPY CHRISTMAS、国際女性デー) 各回 2日間実施 (HAPPY CHRISTMASのみ1日間)</li> </ul>			
	評価指標(単位)	令和5年度		令和6年度	
	相談件数(件)	計画	実績	計画	実績
取り組みの評価と方向					
<p>女性の起業や地域での活動等の相談を実施しており、奇数月の第4金曜日には、起業を目指す女性の交流や情報交換の場である「起業カフェ yukichi」も開設するなど、女性の活躍推進に向けた積極的な支援を行うことができた。今後も引き続き支援していく。</p>					

R7	時期	通年			
実施計画	場所	男女共同参画支援センター他			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事業(委託) 24回実施 毎月第2・4金曜日の午後1～7時</li> <li>・起業カフェ yukichi 6回実施 奇数月の第2金曜日</li> <li>・ここからチャレンジマルシェ 4回実施</li> </ul>			
	評価指標(単位)	令和7年度(計画)		備考	
	相談件数(件)	90		—	

事業名称	「女性に対する暴力をなくす運動」期間等における啓発事業	担当課	男女共同参画課
------	-----------------------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11月12～25日）に合わせ、女性の人権を侵害する女性に対する暴力の防止に対する市民の理解を深める。

R6	時期	11月1日～30日			
実施状況	場所	市内			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連図書展示（ゆめりあ うじ活動スペース、西宇治図書館、中央図書館）</li> <li>・パネル展示（市役所1階ロビー、男女共同参画支援センター）</li> <li>・セミナー「きょうだい児支援で感じたこと」 /京都きょうだい会 竹口 宏樹、桶本 祐子</li> <li>・街頭啓発 啓発物品（除菌シート、マスク等）、チラシの配布 11月5日 ホームセンターコーナンJR宇治駅北店 11月16・17日 オレンジ・パープルマルシェ会場 11月23日 宇治ひゅうまんフェスタうじ、 11月12日 ロビーコンサート会場</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
	取り組みの評価と方向				
	京都府、法務局、警察、関係団体等と連携するとともに、こども福祉課（児童虐待担当課）と共催で啓発等を行うことができた。今後も引き続き啓発活動を行う。				

R7	時期	11月1日～30日			
実施計画	場所	市内			
	事業内容	女性に対する暴力防止をテーマとする展示、街頭啓発等			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	中学生向け男女共同参画ハンドブック配付事業	担当課	男女共同参画課
------	-----------------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	学校
	事業対象	市民 教職員等
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	ハンドブックの配付を通じて、教育関係者や中学生の男女共同参画社会の形成に向けた理解を深める。

R6	時期	5月				
実施 状況	場所	市立中学校				
	実施 内容	男女共同参画ハンドブックの内容を更新し、市立中学校3年生全員と担任教職員等に配付した。				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績	
			—	—	—	
	取り組みの評価と方向					
適正に実施した。今後授業等でのさらなる活用促進に努める必要がある。						

R7	時期	5月		
実施 計画	場所	市立中学校		
	事業 内容	男女共同参画ハンドブック<中学生編>を、市立中学3年生全員と担任教職員等に配付する。		
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）	備考	
	数値目標なし	—	—	

事業名称	市政だより等を通じた人権啓発・広報	担当課	男女共同参画課
------	-------------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	地域社会 家庭
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	市民啓発記事を市政だよりに掲載し、また、若い世代を対象にデートDVについての啓発を推進する。

R6	時期	①11月1日、3月1日 ②通年				
実施状況	場所	①市政だより・市ホームページ等				
	実施内容	①市政だより11月1日号に例年と同じく児童虐待防止推進月間と女性に対する暴力をなくす運動期間にあわせた啓発記事を掲載した。 3月1日号には女性の健康習慣に関するコラムを掲載し、併せて、市ホームページでも啓発を行った。 ②女性のための相談啓発カード、男性のための電話相談啓発カードを配布し、啓発に努めた。				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績	
			—	—	—	
取り組みの評価と方向						
概ね適正に実施することができた。男女共同参画社会の形成に向け、今後も機会を捉えて積極的な広報を行っていく必要がある。						

R7	時期	11月・12月			
実施計画	場所	市政だより・市ホームページ等			
	事業内容	<p>①市政だよりに男女共同参画に関する記事を掲載する。</p> <p>②相談カードを公共施設や設置可能な民間施設等に呼びかけて設置し、啓発に努める。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	庁内人権通信講座「ゆめりあ通信」	担当課	男女共同参画課
------	------------------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	女性
	人権教育・啓発の場	企業・職場
	事業対象	市職員等
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	市職員向けの男女共同参画研修や固定的性別役割分担意識の解消に向けた職場啓発として庁内電子掲示板を利用して、全職員に「ゆめりあ通信」を配信し、職員の男女共同参画に対する意識の向上に努める。

R6	時期	①5月 ②11月 ③1月 ④2月 ⑤3月			
実施状況	場所	庁内電子掲示板			
	実施内容	<p>ゆめりあ通信を5回配信した。</p> <p>①困難な問題を抱える女性への支援に関する法律、保護命令制度改正          ②ジェンダーギャップ指数2024、男女共同参画の視点からの防災          ③オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン          ④自分ごととして考える戦争とジェンダー          ⑤令和6年の自殺者の状況</p>			
	配信回数(回)	令和5年度		令和6年度	
		計画	実績	計画	実績
			5	5	5
	将来展望(令和8年度目標)				
	5				
	取り組みの評価と方向				
	5回配信することができた。今後も積極的に広報を行い、職員の男女共同参画に関する意識の向上に努める。				

R7	時期	通年			
実施計画	場所	庁内電子掲示板			
	事業内容	<p>年間5回配信。</p> <p>①職員の男女共同参画に対する関心を高める ②職場において男女共同参画に関する知識・情報を共有する ③職員が男女共同参画の視点を持ち、男女共同参画を基本とした事務処理を促進する記事を掲載し、一方的な情報発信ではなく、職員からの返信を求め、職員間や職場内での意見交換を活発にする。</p>			
	評価指標(単位)	令和7年度(計画)		備考	
	配信回数(回)	5		—	

事業名称	民生委員・児童委員人権研修事業	担当課	地域福祉課
------	-----------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	保健福祉関係
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切にし、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	民生委員・児童委員の資質の向上と基本的人権についての意識の高揚を図り、自らが人権を守る立場にあることの認識を一層深める。

R6	時期	①令和6年6月28日 ②令和7年1月16日			
実施状況	場所	①②宇治市文化センター大ホール			
	実施内容	<p>①宇治市民生児童委員協議会全員研修会：1回 講演「障害者福祉について」 講師 有限会社 ライフ・アシスト 代表 井山 信久</p> <p>講演「成年後見制度について」 講師 特定非営利活動法人 山城権利擁護ネットワーク 藤田 昌輝</p> <p>②民生委員・児童委員人権問題啓発研修会：1回 講演「DV について」 講師 京都府家庭支援総合センター</p> <p>講演「災害について」 講師 京都 DWAT</p>			
		令和5年度		令和6年度	
	実施回数(回)	計画	実績	計画	実績
			2	2	2
将来展望(令和8年度目標)					
→					
取り組みの評価と方向					
民生委員・児童委員を対象に研修を行うことにより、人権意識の高揚につながった。今後も内容を工夫して取り組んでいく。					

R7	時期	①令和7年年7月5日 ②2月頃(未定)			
実施計画	場所	①宇治市文化センター大ホール ②未定			
	事業内容	<p>①宇治市民生児童委員協議会全員研修会：1回 講演「防災について」 講師 一般社団法人 A D I 災害研究所 理事長 伊永 勉</p> <p>②人権問題研修(全員対象)：1回 全員が対象なので、より多くの委員の参加を促す。</p>			
	評価指標(単位)	令和7年度(計画)		備考	
	実施回数(回)	2		—	

事業名称	自殺対策推進事業	担当課	地域福祉課
------	----------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民 市職員
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切にし、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	平成28年4月に改正された「自殺対策基本法」に基づき、宇治市において「宇治市自殺対策計画」を策定し、「自殺者ゼロ」を目標に誰も自殺に追い込まれることのないまちの実現を目指す。

R6	時期	①令和6年4月25日 ②令和6年7月13日 ③令和7年1月25日 ④令和7年3月29日 ⑤令和7年3月22日			
実施状況	場所	①宇治市生涯学習センター第1ホール ②③④宇治市生涯学習センター第2ホール ⑤宇治市男女共同参画センター会議室1			
	実施内容	①ゲートキーパー養成研修（行政職員向け）：1回 参加人数：33人 ②ゲートキーパー養成講座（市民向け）：1回 講師：NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 参加人数：36人 ③ゲートキーパー養成講座（市民向け）：1回 講師：NPO法人ゲートキーパー支援センター 認定講師 岩崎 豊 参加人数：21人 ④男性のストレス対策セミナー：1回 講師：京都文教大学 臨床心理学部 講師 橋本 俊之 参加人数：20人 ⑤若年層向けセミナー：1回 講師：京都文教大学 臨床心理学部 教授 松田 真理子 参加人数：22人（会場：21人 オンライン：1人） ※男女共同参画課と共催			
		令和5年度 令和6年度 将来展望(令和8年度目標)			
		計画	実績	計画	実績
		2	5	5	→
	取り組みの評価と方向				
	行政職員、一般の市民に加え、多くの人と関わる民生委員も参加され、自殺対策への意識を高めてもらうことができた。ゲートキーパー養成講座は支援者向けを初めて開催し、多くの参加があった。 今後もより多くの人に参加してもらえよう、取り組みを進めていく。				

R7	時期	①令和7年4月25日 ②③④⑤未定			
実施計画	場所	①宇治市役所大会議室 ②宇治市生涯学習センター第2ホール ③④⑤未定			
	事業内容	①②③ゲートキーパー養成講座（市職員、民生委員、市民を対象） ④男性向けストレス対策セミナー（予定） ⑤若年層向けセミナー（予定）			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施回数(回)	5		—	

事業名称	ひきこもり対策事業	担当課	地域福祉課
------	-----------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	ひきこもりに関する身近な相談窓口の設置、ひきこもりに関する支援団体等のネットワークの構築及び啓発事業を実施することで、ひきこもり状態にある人や家族が相談しやすい環境を作り、ひきこもりについて市民や福祉関係者の理解を深めるとともに、相談に来た人を必要な支援につなげる。

R6	時期	①令和6年4月1日～令和7年3月31日 ②毎月第3木曜日 ③④令和6年7月4日・令和6年12月12日 ⑤令和6年7月27日・10月12日 ⑥令和6年7月27日・9月7日・10月12日				
	場所	①相談ルーム あんど・ゆー ②屋外施設 ③④宇治市役所 8階大会議室 ⑤宇治市産業会館 多目的ホール・宇治市生涯学習センター 第1ホール ⑥宇治市産業会館 多目的ホール・宇治市生涯学習センター 第1ホール				
実施 状況	実施 内容	①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 相談回数：457回 ②相談当事者対象の居場所づくり 実施回数：12回 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議 宇治市不登校・ひきこもり支援連絡会議 2回 ④宇治市ひきこもり支援ネットワーク向け研修の実施 2回 ⑤市民向け市民講演会の実施 2回 ⑥ひきこもりサポーター養成講座の実施 3回				
		令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
		計画	実績	計画	実績	
	実施回数（回）		99	180	457	↑
	取り組みの評価と方向					
	令和2年度からひきこもり相談事業を実施。令和6年度より京都府の「チーム絆」への相談事業の引継ぎがなくなり、宇治市において引き続き相談を行ったため、大幅に相談件数が増加した。相談窓口は求められており、多くの方に利用していただくための取り組みとして今後は、支援団体ネットワークの連携強化を図るとともに、市民向け講演会を引き続き実施することで、ひきこもりについての理解を深め、必要としている方へ支援が届くように努める。					

R7	時期	①令和7年4月1日～令和8年3月31日 ②毎月第3木曜日 ③④⑤⑥未定			
実施計画	場所	①相談ルーム あんど・ゆー ②宇治市内など ③④⑤⑥ 未定			
	事業内容	①ひきこもり相談窓口運営・相談支援：月40回以上 ②相談当事者対象の居場所づくり ③ひきこもり支援ネットワーク連絡会議 ④ひきこもり支援ネットワーク向け研修の実施 ⑤市民向けの研修会の実施 ⑥ひきこもりサポーター養成講座の実施			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施回数（回）	480		令和2年度、令和3年度の報告は①の個別相談数と②～⑥の研修会の実施回数の合計を報告していたが、②～⑥は窓口委託の仕様書で定められている回数であり、上積みが難しく、①と同じ集計としてカウントすることは不適切であると考え。 そのため、令和4年度以降は、①の回数のみを報告し、①を伸ばすために②～⑥の取り組みを行う。	

事業名称	生活保護職場職員の人権研修	担当課	生活支援課
------	---------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	企業・職場
	事業対象	市職員
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	福祉行政に関わる職員としての人権意識の高揚を図り、基本的人権尊重の立場に立って職務を遂行できる職員を養成する。

R6	時期	令和6年4月10日				
実施状況	場所	職場ミーティングスペース				
	実施内容	例年、4月に新任ケースワーカーを対象とし、全体研修を3月に実施し、常に人権を意識するような意識付けを行ってきたが、令和6年度は4月に全査察指導員・ケースワーカーを対象に、過去にあった生活支援課での誓約書事案等を取り上げた研修を実施することにより、人権意識をもって業務に携わるように職員の養成に取り組んだ。				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績	
			—	—	—	
取り組みの評価と方向						
平成24年に起こった誓約書事案については当時を知るケースワーカーも異動や退職等により少なくなっていることから、改めて誓約書事案の周知と問題点の共有化を図ることが大事であるとの認識のもと、今後も人権意識の向上を図るとともに誓約書事案が風化することのないように、この研修を継続したい。						

R7	時期	随時（新任ケースワーカーには、4月に実施済み）			
	場所	職場・会議室等を利用			
実施計画	事業内容	<p>福祉行政に携わる職員としての人権意識の高揚を高め、平成24年に起こった誓約書事案を風化させず、常に人権意識を持って業務遂行するための研修を実施する予定。新任ケースワーカーには4月の新任研修の中で実施（令和7年4月10日）をしたが、本年も引き続き全査察指導員・ケースワーカーを対象とした研修も実施していきたい。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	市役所ロビーほっとショップの運営支援	担当課	障害福祉課
------	--------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	障害のある人
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	障害のある人の社会参加を支援するとともに、障害のある人の人権について市民の理解を深める。

R6	時期	毎週月～金曜日、11時30分～13時15分（祝日・オープンカフェうじ開催日を除く）			
	場所	市役所市民交流ロビー			
実施状況	実施内容	宇治市障害者福祉施設連絡協議会に参画する14施設が輪番で出店し、パン・クッキー・お弁当などを販売する「市役所ロビーほっとショップ」について、運営を支援した。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	販売回数（回／週）	計画	実績	計画	実績
			5	5	5
	将来展望(令和8年度目標)				

令和6年度同様週5回の開催を見込む

取り組みの評価と方向

毎日開設することで市民の方や職員にも障害者福祉施設による手作り商品に触れる機会を提供でき、啓発につながっている。今後も継続して支援していく。

R7	時期	毎週月～金曜日、11時30分～13時15分（祝日・オープンカフェうじ開催日を除く）			
	場所	市役所市民交流ロビー			
実施計画	事業内容	宇治市障害者福祉施設連絡協議会14団体（施設）が運営する「市役所ロビーほっとショップ」の実施を支援。 ○14団体（施設）での輪番制（ゆめハウス、天ヶ瀬ワークスあすなろ、宇治川福祉の園、同胞の家、ワークセンター宇治作業所、みつくすはあつ、クローバー、志津川福祉の園、障害者就労支援事業所さびゅいえ、スマイル大久保ベース、さくらんぼの樹、つくりて工房、のびのび、槇島福祉の園） ○販売品目＝パン・クッキー・手作り小物・木工作品・野菜・弁当他			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	販売回数（回／週）	5		—	

事業名称	障害者週間記念事業	担当課	障害福祉課
------	-----------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	障害のある人
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	障害のある人の人権について市民の理解を深めるとともに、障害の有無にかかわらず地域でともに支え合う社会形成の促進を図る。

R6	時期	①4月・7月・9月・12月・1月・2月 ②12月3日～10日			
実施状況	場所	①市役所市民ロビー、ゆめりあうじ、生涯学習センター ②障害福祉課、市役所市民ロビー、ゆめりあうじ、生涯学習センター			
	実施内容	<p>①市役所市民ロビー等での啓発・販売活動を行った。</p> <p>②障害者週間啓発ビラと障害者施設の製品の配布を行った。</p>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
			—	—	—
取り組みの評価と方向					
市民ロビー等での販売や展示、その他の取り組みを通して障害者理解に対する啓発を行った。今後も継続して実施していく。					

R7	時期	通年			
実施計画	場所	市役所市民ロビー 他			
	事業内容	<p>①障害者週間記念事業実行委員会が実施する事業への支援。</p> <p>②障害者週間（12月3～9日）における取り組みの他、年間を通しさまざまな啓発を行う。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	市政だより等を通じた障害者理解の啓発・広報	担当課	障害福祉課
------	-----------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	障害のある人
	人権教育・啓発の場	地域社会 家庭
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	市政だより等における記事掲載を通じて、障害のある人の社会参加を促進するとともに、障害のある人の人権について市民の理解を深める。

R6	時期	①12月1日号 ②各月15日号			
	場所	市政だより・市ホームページ等			
	実施内容	①市政だより等に障害者理解を促進するための特集記事を掲載。 ②通年のシリーズで、基礎的な手話やろう文化を紹介するコラムを掲載。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
			—	—	—
	将来展望(令和8年度目標)				
—					
実施状況	取り組みの評価と方向				
	障害者理解をさらに深めるため、より効果的な記事について検討する必要がある。				

R7	時期	①12月1日号、②各月15日号			
実施計画	場所	市政だより・市ホームページ等			
	事業内容	<p>①障害者週間(12月3～9日)に関連して、市政だより等に障害者理解を促進するための記事を掲載する。</p> <p>②通年のシリーズで、基礎的な手話やろう文化を紹介するコラムを掲載。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	オープンカフェうじの運営支援	担当課	障害福祉課
------	----------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	障害のある人
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	障害のある人の社会参加を支援するとともに、障害のある人の人権について市民の理解を深める。

R6	時期	4月～7月、9月～11月の間、月に1回または2回実施→R6.8.30台風で中止、R6.11.12振替			
実施状況	場所	市役所南側玄関前			
	実施内容	<p>宇治市障害者福祉施設連絡協議会が運営し、パン、弁当、クッキー、コーヒー、ジュース、アイスクリーム等の品目を販売する、「オープンカフェうじ」の実施を支援した。</p> <p>・実施回数：10回</p>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	実施回数(回)	計画	実績	計画	実績
			9	10	10
	将来展望(令和8年度目標)				

R6年度同様10回の開催を見込む

取り組みの評価と方向

「オープンカフェうじ」を利用された市民や職員から、障害者福祉施設の取り組みへの理解が得られた。今後も市民とのふれあいを通じて、啓発していく必要がある。

R7	時期	4月～6月、9月～12月までの間、月に1回または2回実施			
実施計画	場所	市役所南側玄関前			
	事業内容	<p>宇治市障害者福祉施設連絡協議会が運営する「オープンカフェうじ」の実施を支援</p> <p>・市役所南側玄関前でカフェを実施</p> <p>・ワークセンター宇治作業所、みくすはあつ、ゆめハウス、槇島福祉の園、スマイルワーク大久保事業所、障害者就労支援事業所さびゆいえ、つくりて工房</p> <p>・販売品目＝パン・弁当・クッキー・コーヒー・ジュース・アイスクリーム他</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施回数(回)	10		—	

事業名称	児童虐待の予防・早期発見の啓発	担当課	こども福祉課
------	-----------------	-----	--------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民 教職員等 保健福祉関係
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	児童虐待の予防及び早期発見を図るとともに、子どもの人権について市民の理解を深める。

R6	時期	①第1回8月20日、第2回2月12日 ②11月19日 ③11月1日～11月30日				
	場所	①宇治市産業会館 ②うじ安心館 ③市内				
実施 状況	実施 内容	①要保護児童対策地域協議会において児童虐待の予防及び早期発見のための啓発を実施した。				
		②学校・保育所等の要保護児童対策地域協議会の関係機関等を対象とした、子どもの人権（ヤングケアラー支援及び児童虐待防止）に関わる研修を実施した。				
	③児童虐待とDV防止啓発のため、オレンジリボン・パープルリボンキャンペーンを男女共同参画課と共同で実施した。（関連図書展示・パネル展示・街頭啓発・啓発物品・チラシの配布）					
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績	
			—	—	—	—
取り組みの評価と方向						
要保護児童対策地域協議会を開催し、関係団体との連携を深め、児童虐待防止に関わる研修では、子どもの人権に対する意識の向上を図ることができた。また、秋のこどもまんなか月間（11月）において男女共同参画課と共同で、児童虐待とDV防止啓発のため、オレンジリボン・パープルリボンキャンペーンを実施し、市民や関係機関への啓発を図った。今後もこのような取り組みを継続していく。						

R7	時期	通年			
	場所	—			
実施計画	事業内容	①要保護児童対策地域協議会において児童虐待の予防及び早期発見のための啓発を実施する。 ②学校・保育所等の要保護児童対策地域協議会の関係機関等を対象とした、子どもの人権（ヤングケアラー支援及び児童虐待防止）に関わる研修を実施する。 ③児童虐待とDV防止啓発のため、オレンジリボン・パープルリボンキャンペーンを男女共同参画課と共同で実施する。（関連図書展示・パネル展示・街頭啓発・啓発物品・チラシの配布）			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	育成学級指導員人権研修事業	担当課	こども福祉課
------	---------------	-----	--------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	企業・職場
	事業対象	市職員等 保健福祉関係
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	育成学級指導員及びアルバイト指導員の人権意識の高揚を図る。

R6	時期	6月4日			
実施状況	場所	生涯学習センター			
	実施内容	毎月実施している育成学級指導員会議において、身近な人権問題をテーマに学習を実施した。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	実施回数(回)	計画	実績	計画	実績
		1	1	1	1
	取り組みの評価と方向				

研修により、各指導員の人権に関する理解が深まった。今後も継続して研修を実施していく。

R7	時期	6月3日			
実施計画	場所	宇治市生涯学習センター			
	事業内容	毎月実施している育成学級指導員会議において、身近な人権問題をテーマに学習を実施する。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施回数(回)	1		—	

事業名称	ヤングケアラーへの支援	担当課	こども福祉課
------	-------------	-----	--------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民 教職員等 保健福祉関係
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	ヤングケアラーに関する相談・支援を行うとともに、子どもの人権について市民の理解を深める。

R6	時期	通年			
	場所	—			
実施状況	実施内容	<p>・ヤングケアラーに関する周知啓発として、宇治市政だより、ヤングケアラー支援にかかる研修会を開催した（3回）。また、ヤングケアラーコーディネーターによる市内関係機関への研修を実施した（1回）。</p> <p>・市民からの相談に対応するため、令和4年10月から専用電話回線を設け、面談や家庭訪問を実施している。</p>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
	将来展望(令和8年度目標)				

取り組みの評価と方向

児童と直接接する機会が多くヤングケアラーの早期発見につながりやすい学校等所属機関への周知啓発活動を重点的に行った。今後は、市民にヤングケアラーという言葉の認知度が上がること、正しい理解が進むよう周知啓発を行っていく。

R7	時期	通年			
	場所	—			
実施計画	事業内容	<p>①ヤングケアラーコーディネーターを配置し、相談対応、関係機関と連携した支援へのつなぎを行う。</p> <p>②ヤングケアラー本人や周囲の人が身近に相談できる窓口を設置し、周知する。</p> <p>③ヤングケアラーの概念や子どもへの影響についての講演会・研修会を開催する。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	保育士人権研修事業	担当課	保育支援課
------	-----------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	保育所
	事業対象	市職員等 保健福祉関係
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	保育士の人権意識の高揚を図る。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	各保育所等			
	実施内容	各保育所の保育士が、人権に関する研修や子どもの虐待防止、障害児の研修に参加した。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	実施回数(回)	計画	実績	計画	実績
			27	15	32
	将来展望(令和8年度目標)				

20					
----	--	--	--	--	--

取り組みの評価と方向					
------------	--	--	--	--	--

子どもの発達や障害に関すること、同和問題や外国人の人権等、人権問題への幅広い意識を高めることが出来た。今後も継続して研修を実施していく。

R7	時期	通年			
実施計画	場所	各保育所			
	事業内容	各保育所における研修計画に基づき人権擁護研修や障害児保育等に関連する研修を実施する。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	実施回数(回)	15		—	

事業名称	認知症地域支援事業	担当課	長寿生きがい課
------	-----------	-----	---------

推進計画との関係	人権問題の分野	高齢者
	人権教育・啓発の場	地域社会 企業・職場・学校
	事業対象	市民 市職員等 保健福祉関係
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	認知症の人に対する差別や偏見をなくし、認知症の人や家族が地域で暮らしやすい環境を整備するとともに、虐待等の発生を積極的に防止する。

R6	時期	①通年 ②9月～2月 ③通年			
	場所	うじ安心館、宇治市福祉サービス公社等			
実施状況	実施内容	①認知症あんしんサポーター養成講座 参加：1,063人(29回) ②認知症家族支援プログラム 参加：32人(延べ)・実数：8人 ③認知症家族支援プログラムOB会 参加：74人(延べ)・実数：23人 ※実施内容については実施計画の事業内容と同様。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	参加者数（人）	計画	実績	計画	実績
		2,300	1,597	2,300	1,169
	将来展望(令和8年度目標)				
	↑				
	取り組みの評価と方向				
	平成27年度に「認知症の人にやさしいまち・うじ」を宣言し、平成28年度から実現に向けて認知症アクション・アライアンスを始動し、市役所職員や宇治警察職員など多くのサポーターを養成することができた。また、小学生に対して、宇治学により認知症についての理解を深めることができた。今後も、認知症についての正しい理解が広まるよう事業を展開していく。				

R7	時期	①通年 ②9月～2月 ③通年		
実施 計画	場所	うじ安心館、宇治市福祉サービス公社等		
	事業 内容	①認知症あんしんサポーター養成講座 ②認知症家族支援プログラム ③認知症家族支援プログラムOB会		
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）	備考	
	参加者数（人）	2,000	—	

事業名称	ハンセン病に関する啓発	担当課	健康づくり推進課
------	-------------	-----	----------

推進計画との関係	人権問題の分野	感染
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	ハンセン病の患者やその家族等が偏見や差別を受けることがないよう、病気に対する正しい知識の普及・啓発に努める。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	健康づくり推進課窓口			
	実施内容	ハンセン病に関する啓発ポスターの掲示及び市政だよりにハンセン病に関する情報の掲載を行った。			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
	取り組みの評価と方向				
	市民に啓発が行えた。今後も引き続き啓発を行っていく。				

R7	時期	通年			
実施計画	場所	健康づくり推進課窓口			
	事業内容	ハンセン病に関するポスターの掲示や啓発冊子を配布する。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	人権啓発視聴覚教材の貸出	担当課	生涯学習課
------	--------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	保育所 幼稚園 学校 地域社会 家庭 企業・職場
	事業対象	市民 市職員等 教職員等 医療関係 保健福祉関係 メディア
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発 生涯学習としての人権教育・啓発
	事業目的	さまざまな人権問題に対する、市民の正しい理解を深める。

R6	時期	通年			
実施 状況	場所	生涯学習センター			
	実施 内容	市民等に対し、さまざまな人権問題を認識・理解してもらうため、教材を無料で貸し出した。 貸出本数：20本			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	貸出本数（本）	計画	実績	計画	実績
		80	25	80	20
	将来展望(令和8年度目標)				
↑					
取り組みの評価と方向					
前年度と同様に、広報チラシの配布、教材一覧の掲示を行った。今後は、さらに他課の協力を得ながら広報を強化し、貸出数の増加に努める。					

R7	時期	通年			
実施計画	場所	生涯学習センター			
	事業内容	市民等に対し、さまざまな人権問題を認識・理解してもらうため、教材を無料で貸し出す。 ・保有本数：135本			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	貸出本数（本）	80		—	

事業名称	障害者教室開催事業	担当課	生涯学習課
------	-----------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	障害のある人
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発 生涯学習としての人権教育・啓発
	事業目的	障害のある人への学習機会の提供と仲間づくりの機会を提供する。

R6	時期	随時			
	場所	生涯学習センター他			
実施状況	実施内容	宇治市身体障害者教室 社会見学 参加：32人			
		身近に感じる人権講座③・宇治市身体障害者教室 合同講座 参加：60人			
		宇治市心身障害者教室 やまぶき学級教室 参加：140人			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	参加者数（人）	計画	実績	計画	実績
		200	165	200	232
	将来展望(令和8年度目標)				
	→				
	取り組みの評価と方向				
	社会見学は障害の特性に合わせて2回に分け、視覚、聴覚及び難聴の各障害者協会と行った。講座は4協会合同で1回の開催とした。また、新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いていた心身障害者教室やまぶき学級をR5年度に4年ぶりに再開し、R6年度についても継続して実施した。なお、各教室とも全体的に参加者の高齢化と固定化が進んでおり、今後の障害者教室のあり方について検討が必要である。				

R7	時期	随時			
	場所	生涯学習センター他			
実施計画	事業内容	障害者関係団体やボランティアと連携を図りながら、障害の種別に応じた教室を開催し、障害のある人・ない人の相互交流やボランティア活動の促進を行う			
		対象：視覚障害者、聴覚障害者、肢体障害者、心身障害者及びボランティア等。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	参加者数(人)	200		—	

事業名称	人権教育関連会議への出席	担当課	生涯学習課
------	--------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	地域社会 企業・職場
	事業対象	市職員等 教職員等
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切にし、その可能性を伸ばす人権教育・啓発 共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	人権に関する課題解決に向けた方策について、京都府教育委員会及び山城教育局開催の関係機関との連携・研究協議及び情報交換を行う。

R6	時期	①8月28日、11月25日 ②7月22日、10月4日、1月29日 ③11月30日、12月1日			
実施状況	場所	京都府山城教育局 他			
	実施内容	①令和5年度京都府人権教育指導者研修会 ②令和5年度山城地方人権教育行政担当者等研究協議会 ③第74回全国人権・同和教育研究大会			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
	取り組みの評価と方向				
	適正に事業目的を達成できた。今後もより多くの研修会に出席し、理解を深める努力をする。				

R7	時期	随時			
実施計画	場所	京都府山城教育局 他			
	事業内容	京都府教育委員会及び山城教育局が開催する人権問題についての研修会や会議に関係職員を出席させ、関係機関との連携・研究協議及び情報交換を行う。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	少年補導活動	担当課	教育支援課
------	--------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	青少年の非行の未然防止と健全育成を図るとともに、子どもの人権について市民の理解を深める。

R6	時期	通年			
	場所	全市域			
実施状況	実施内容	<p>・教育委員会が委嘱した少年補導委員による校区别街頭補導活動を実施した。</p> <p>・あがた祭りでの補導活動、中学校区単位で行うブロック補導や年末補導活動及び年始補導活動(青パト出発式)を実施した。</p> <p>・7月に「青少年の非行被害防止全国強調月間」の啓発パネル展を実施し、6～9月には地域懇談会を実施した。7月から8月にかけては、社会環境浄化実態把握活動(青少年健全育成条例に基づくチラシ配布等)を行った。また、10月18日に京都地方裁判所への管外研修を実施した。</p>			
	評価指標(単位)	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
	取り組みの評価と方向				
	<p>今後も社会状況に柔軟に対応しながら、各校区の少年補導委員が、無理のない範囲で、できるときにできることを継続していく。</p>				

R7	時期	通年			
	場所	全市域			
実施計画	事業内容	教育委員会が委嘱した少年補導委員による街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動等を社会状況に柔軟に対応しながら実施する。			
	評価指標(単位)	令和7年度(計画)		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	青少年健全育成推進事業	担当課	教育支援課
------	-------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	青少年の社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年リーダーの育成にかかる啓発活動を行う。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	府立青少年海洋センター 他			
	実施内容	<p>・ジュニアリーダー研修会をアクトパル宇治にて5月に1泊2日で実施、また、ジュニアリーダー養成（ふる里）学習会を府立海洋センター「マリーンピア」で開催した（7月26～28日）。いずれも集団生活を通じて規律や友愛の精神を学ぶ機会となった。</p> <p>・各地域青少年健全育成協議会のが実施するお祭りやクリーン運動など、コロナ禍以前に行っていた「ふるさとづくり」のための活動をおおよそ再開することができ、各事業について支援した。</p> <p>・1月26日(日)、生涯学習センター第1ホールにおいて、宇治市青少年健全育成推進大会を実施した。感謝状贈呈式や各地域青少協とジュニアリーダーからの実践活動報告、そして「「やさしさわすれないで」～阪神・淡路大震災から30年～」と題し、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター語り部で元二葉小学校教諭（教育復興担当教員）の佐々木勉氏を講師に招いて講演していただいた。</p>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
取り組みの評価と方向					
今年度は多くの地域青少協で、ほぼコロナ前の規模で事業を再開することができた。今後もその時の社会状況に応じた柔軟な活動を行う。					

R7	時期	通年			
実施計画	場所	府立青少年海洋センター 他			
	事業内容	<p>・集団生活を通じて規律や友愛の精神を学ぶジュニアリーダー養成（ふる里）学習会等を、その時の社会状況に柔軟に対応しながら実施していく。</p> <p>・各地域青少年健全育成協議会の実施する事業に対する支援を行う。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	宇治市一般研修講座（人権研修）	担当課	学校教育課
------	-----------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	幼稚園 学校
	事業対象	教職員等
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	教職員の人権意識の高揚を図り、実践力、指導力の向上を図る。

R6	時期	8月1日			
	場所	生涯学習センター			
実施状況	実施内容	<p>令和3年度実施の宇治市教委「人権教育に関する教職員の意識調査」の結果を踏まえながら、教職員自らが豊かな人権意識を持ち実践すること、さまざまな人権問題についての理解と認識を深めること、人権教育に関する知識・技能を向上させることなど、教職員の実践力、指導力の向上を図る研修会を、本市幼稚園、小・中学校の教職7年目、12年目の教職員悉皆として実施した。また、実施後の意識の変化を把握するために事後にアンケートを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権教育の推進～人権教育に関する教職員の意識調査の結果から～」</li> <li>・「部落差別（同和問題）から考える人権教育」</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績
		—	—	—	—
	<p>将来展望(令和8年度目標)</p> <p>—</p> <p>取り組みの評価と方向</p> <p>令和3年度に宇治市立小中学校に勤務する教職員を対象に実施した「意識調査」の結果をふまえ、教職員の課題（特に若手教職員の知的理解と人権意識の低さ）に焦点をあてて研修を行った。受講報告書からは、教師の人権意識や理解が生徒に対する人権学習に直結すること、人権教育の大切さと教師自身が人権感覚を磨き続けていくことの大切さへの再認識が伺えた。今後も同和問題（部落差別）をはじめとした人権問題に対する教職員の認識を深め、人権教育の在り方を考えていくことは今後必要であり、同和教育の成果と手法の継承と発展を図るためにも、来年度以降の研修も実施していくことが望ましい。</p>				

R7	時期	8月1日			
	場所	生涯学習センター			
実施計画	事業内容	<p>令和3年度実施の市教委「人権教育に関する教職員の意識調査」結果を踏まえながら、教職員自らが豊かな人権意識を持ち実践すること、さまざまな人権問題についての理解と認識を深めること、人権教育に関する知識・技能を向上させることなど、教職員の実践力、指導力の向上を図る研修会を、本市幼稚園、小・中学校の教職7年目、12年目の教職員悉皆として実施する。また、実施後の意識の変化を把握するために事後にアンケートを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：本市幼稚園、小・中学校の教職7年目、12年目の教職員</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	小・中学校における人権教育の推進	担当課	学校教育課
------	------------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	学校
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	児童生徒の基本的な人権やさまざまな人権問題についての正しい理解や認識の基礎と、人権尊重の態度や実践力を養う。

R6 実施 状況	時期	年間を通じて計画的に実施				
	場所	市立全小・中学校				
	実施 内容	各学校の「令和6年度 人権教育推進計画書」に基づき、人権教育を実施した。				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績	—
			—	—	—	
	取り組みの評価と方向					
概ね適正に実施することができた。インターネット上における人権問題や性的指向・ジェンダーアイデンティティ、ヤングケアラー等、さまざまな人権問題が社会的に注目されてきており、今後も児童生徒の実態を踏まえて適切に人権教育を推進し、児童生徒が学習したことが知的理解にとどまることなく、人権感覚を高めることにつなげていく必要がある。						

R7 実施計画	時期	年間を通じて計画的に実施			
	場所	市立全小・中学校			
	事業内容	各学校の「令和7年度人権教育推進計画書」に基づき、年間を通じて計画的に人権教育を実施する。			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	帰国・外国人児童生徒教育	担当課	学校教育課
------	--------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども 外国人
	人権教育・啓発の場	学校 地域社会 家庭
	事業対象	市民 教職員等
	人権教育・啓発の視点	共生社会の実現に向けた人権教育・啓発
	事業目的	帰国・外国人児童生徒がスムーズに日本の学校生活に慣れ、学習に取り組むことができるよう支援する。

R6	時期	年間を通じて計画的に実施				
実施 状況	場所	帰国・外国人児童生徒受け入れ校（平盛小学校、南部小学校、南宇治中学校）中心				
	実施 内容	平盛小学校、南部小学校、南宇治中学校の3校を宇治市帰国・外国人センター校とし、日本語教室を設置し加配教員が日本語指導を中心に個別指導を行っている。また、センター校以外の学校においても、状況に応じて、帰国・外国人児童生徒の学校生活や学習の補助として、通訳や初期指導補助員の配置のための予算措置をしている。加えて、教職員対象に、帰国・外国人児童生徒への対応・指導についての研修を行っている。				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	数値目標なし	計画	実績	計画	実績	
			—	—	—	
	取り組みの評価と方向					
各校ともに一定スムーズに帰国・外国人児童生徒を受け入れている。また、帰国・外国人児童生徒と他の児童生徒との相互啓発、理解も進んでいるようである。 なお、本年度も、教務主任会にて大学から講師を招き、帰国・外国人児童生徒および保護者への対応・指導についての基本的な研修を行った。今後も帰国・外国人児童生徒の転入や編入があることが考えられ、多くの市立小・中学校の教員が研修できるよう検討していくことが必要である。						

R7	時期	年間指導計画に基づいて実施			
実施計画	場所	帰国・外国人児童生徒受け入れ校（平盛小学校、南部小学校、南宇治中学校）中心			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国・外国人児童生徒の受け入れ、指導について通訳や初期指導員の配置を進める。</li> <li>・「特別な教育課程の編成」に基づく指導の充実を図る。</li> <li>・帰国・外国人児童生徒の実践指導等に関する研修会を開催する。</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	数値目標なし	—		—	

事業名称	文化・スポーツ交流事業	担当課	善法青少年センター
------	-------------	-----	-----------

推進計画との関係	人権問題の分野	子どもの人権
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	文化・スポーツ交流事業の開催を通じて、青少年の教育・文化の向上と健全育成を図るとともに、人権尊重の大切さについて理解を深める。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	善法青少年センター			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道教室：24回</li> <li>・折り紙活動の日：7回</li> <li>・スポーツクラブ：6回</li> <li>・ダンス教室：9回</li> <li>・えいごくらぶ：25回</li> <li>・中学生学習教室：1回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	事象回数(回)	計画	実績	計画	実績
			70	73	72
	将来展望(令和8年度目標)				

→

取り組みの評価と方向

当初予定していた教室を概ね実施することができた。指導員や講師の工夫や努力により、事業目的の達成に向けた取り組みに資することができた。今後も継続的に取り組むことが必要である。

R7	時期	通年			
実施計画	場所	善法青少年センター			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道教室：24回</li> <li>・折り紙活動の日：6回</li> <li>・スポーツクラブ：6回</li> <li>・ダンス教室：11回</li> <li>・えいごくらぶ：25回</li> <li>・中学生学習教室：1回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	事業回数(回)	73		—	

事業名称	児童交流事業	担当課	善法青少年センター
------	--------	-----	-----------

推進計画との関係	人権問題の分野	子どもの人権
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	児童交流事業の開催を通じて、子どもたちの交流を図る。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	善法青少年センター 他			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生低学年体験合宿：1回</li> <li>・小学生高学年体験合宿：1回</li> <li>・お楽しみ会：3回</li> <li>・手作り教室：3回</li> <li>・園芸教室：5回</li> <li>・体験シリーズ：3回</li> <li>・料理教室：2回</li> <li>・親子レクリエーション：2回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	事業回数(回)	計画	実績	計画	実績
			22	21	20
	将来展望(令和8年度目標)				

→

取り組みの評価と方向

当初予定していた事業を概ね実施することができた。令和2年度から新規で取り組んでいる園芸教室を継続して取り組んだ。指導員の工夫や努力により児童交流事業の開催を通じて、児童間相互の交流を図ることができた。今後も、継続して交流を図っていくことが必要である。

R7	時期	通年			
実施計画	場所	善法青少年センター 他			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生低学年体験合宿：1回</li> <li>・小学生高学年体験合宿：1回</li> <li>・お楽しみ会：3回</li> <li>・体験シリーズ：3回</li> <li>・手作り教室：3回</li> <li>・料理教室：2回</li> <li>・園芸教室：5回</li> <li>・親子レクリエーション：2回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	事業回数(回)	20		—	

事業名称	河原青少年センターまつり（カメレオン・パニック）開催事業	担当課	河原青少年センター
------	------------------------------	-----	-----------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切にし、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	カメレオン・パニックの開催を通じて、市民の交流を促進し、青少年の教育・文化の向上と健全育成を図るとともに、人権尊重の大切さについて理解を深める。

R6	時期	2024年10月26日			
実施状況	場所	河原青少年センター運動広場			
	実施内容	<p>「こどもといっしょにたのしもう」をテーマに子ども達を中心とした実施内容とした。</p> <p>1.対象：全市域 2.参加：800人 3.内容：（1）手作りコーナー ①缶バッチ②折り紙コマ （2）ゲームコーナー ①的当て②輪投げ③ストラックアウト④コイン落とし⑤英語ゲーム ⑥スーパーボールすくい⑦和太鼓の体験 （3）模擬店 ①焼きそば②かき氷③綿菓子④ソフトクリーム⑤菓子パン （4）大綱引き （5）ビンゴ大会</p>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	参加者数(人)	計画	実績	計画	実績
			500	500	800
	取り組みの評価と方向				
	<p>将来展望(令和8年度目標)</p> <p>→</p> <p>実行委員会と青年層を中心としたワーキンググループにおいて、原点に回帰した「まつり」のあり方を検証し、子どもを中心とした方向性を定め、これが実施されたことが評価できると考える。</p>				

R7	時期	10月中旬～下旬			
実施計画	場所	河原青少年センター			
	事業内容	<p>実行委員会の企画・運営により開催する。</p> <p>対象：全市域 参加：800人</p> <p>内容：手作りやゲームといった従来のコーナーに加え、新たなコーナーについて具体的な取り組みなどを検討していく。</p>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	参加者数(人)	800		—	

事業名称	文化・スポーツ交流事業	担当課	河原青少年センター
------	-------------	-----	-----------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	文化・スポーツ交流事業の開催を通じて、青少年の教育・文化の向上と健全育成を図るとともに、人権尊重の大切さについて理解を深める。

R6	時期	通年			
実施状況	場所	河原青少年センター			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エイゴであそぼ：8回</li> <li>・お茶教室：8回</li> <li>・ダンス教室：10回</li> <li>・Xmasコンサート：1回</li> <li>・親子スポーツ教室：1回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	事業回数(回)	計画	実績	計画	実績
			26	27	28
	取り組みの評価と方向				
	<p>「エイゴであそぼ」では外国人講師を招き異文化への関心を引き出し、「お茶教室」では「おもてなし」を重んずる茶道を通じて思いやりの心を学ぶとともに、各種活動を通じて児童の文化の向上や体力の増進、児童間の交流を図ることができた。。</p>				

R7	時期	通年			
実施計画	場所	河原青少年センター			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エイゴであそぼ：8回</li> <li>・お茶教室：8回</li> <li>・Xmasコンサート：1回</li> <li>・ダンス教室：10回</li> <li>・親子スポーツ教室：1回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	事業回数(回)	28		—	

事業名称	児童交流事業	担当課	河原青少年センター
------	--------	-----	-----------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	児童交流事業の開催を通じて、子どもたちの相互交流を図る。

R6	時期	通年				
実施状況	場所	河原青少年センター 他				
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・アウトドア教室：1回（アクトパル宇治）</li><li>・児童交流事業：3回（チャレンジ七夕、チャレンジXmas、百人一首大会）</li><li>・体験学習：4回（ドリーム21、琵琶湖博物館、大阪城、神戸どうぶつ王国）</li><li>・工作教室：3回（風鈴・モビール・マクラメ）</li><li>・イラスト教室：1回</li><li>・活動発表会：1回</li><li>・防災サバイバルキャンプ：1回（河原青少年センター）</li></ul>				
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度		将来展望(令和8年度目標)
	事業回数(回)	計画	実績	計画	実績	
			11	14	14	
	取り組みの評価と方向					
従来からの事業に加え新たに「防災サバイバルキャンプ」や「イラスト教室」を開催し、より広い層の子ども達を取組んで充実した内容の事業実施に努めた。						

R7	時期	通年			
実施計画	場所	河原青少年センター他			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトドア教室：1回</li> <li>・児童交流事業：3回（チャレンジ七夕、チャレンジXmas、百人一首大会）</li> <li>・体験学習：4回</li> <li>・創作教室：4回</li> <li>・活動発表会：1回</li> <li>・防災サバイバルキャンプ：1回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	事業回数(回)	14		—	

事業名称	人権啓発（母の日・父の日・敬老の日）事業	担当課	大久保青少年センター
------	----------------------	-----	------------

推進計画との関係	人権問題の分野	子ども
	人権教育・啓発の場	地域社会
	事業対象	市民
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切に、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	家族や身近な人に感謝し、手作りのプレゼントにメッセージを添えて贈る。

R6	時期	5月11日 6月15日 9月14日			
実施状況	場所	大久保青少年センター			
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の大切さを学ぶ母の日事業：1回</li> <li>・こどもの人権を学ぶ父の日事業：1回</li> <li>・高齢者の人権を学ぶ敬老の日事業：1回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和5年度		令和6年度	
	事業回数(回)	計画	実績	計画	実績
			3	3	3
	取り組みの評価と方向				
	<p>本事業は、開催を通じて子どもの視点で生命の大切さや、子どもや高齢者が大切にされる社会について考える機会とするものであり、今後も継続を図ることが必要である。</p>				

R7	時期	5月10日 6月14日 9月13日			
実施計画	場所	大久保青少年センター			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の大切さを学ぶ母の日事業：1回</li> <li>・こどもの人権を学ぶ父の日事業：1回</li> <li>・高齢者の人権を学ぶ敬老の日事業：1回</li> </ul>			
	評価指標（単位）	令和7年度（計画）		備考	
	事業回数(回)	3回		—	

事業名称	消防職員人権研修事業	担当課	消防総務課
------	------------	-----	-------

推進計画との関係	人権問題の分野	人権問題全般
	人権教育・啓発の場	企業・職場
	事業対象	市職員等
	人権教育・啓発の視点	一人ひとりを大切にし、その可能性を伸ばす人権教育・啓発
	事業目的	人権尊重の理念やさまざまな人権問題の本質について十分に理解するとともに、その現状と課題について認識し、問題解決に積極的に取り組むことができるより高い人権意識を持った消防職員を育成する。

実施状況	R6	時期	年1回(9～12月)、随時			
		場所	各所属(消防本部②・中消防署・東消防署・西消防署・槇島分署・伊勢田救急出張所)			
		実施内容	<p>人権啓発課の視聴覚教材(ビデオ・DVD)により実施し、職場ごとに討論を行う。</p> <p>また、市庁内で人権侵害差別事象が発生した際に、内容について職員へ周知を行い、人権問題への意識の高揚を図る。</p>			
		評価指標(単位)	令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績
		研修回数(回)		9	7	7
		取り組みの評価と方向				

将来展望(令和8年度目標)

12

視聴覚教材を用いた研修後に職場内で討論を行った。今後もより高い人権意識を持った消防職員を育成するために人権研修を継続して実施していく必要がある。

実施計画	R7	時期	年1回(8月～12月)			
		場所	各所属(消防本部②・中消防署・槇島消防分署・西消防署・伊勢田救急出張所・東消防署)			
		事業内容	人権啓発課の視聴覚教材を使用し、所属ごとに研修と検討を行う。			
		評価指標(単位)	令和7年度(計画)		備考	

研修回数(回)	7	—
---------	---	---